

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨における 被災者見守り・相談支援等事業の取り組み (令和6年度)



いつものあした
ふだんの暮らし

社会福祉法人石川県社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター

はじめに

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震は、本県に未曾有の被害をもたらしました。令和7年3月末現在で、死者562人（災害関連死を含む）、全壊・半壊が24,000棟を超えるなど甚大な被害が発生しました。さらに、令和6年9月には令和6年奥能登豪雨が発生し、仮設住宅の浸水や復旧工事の中断など地震災害からの復興途上にある地域に追い打ちをかける形となりました。この豪雨により、死者16人、住家被害は1,800棟を超え、地震に続く複合災害となりました。今もなお、被災した地元を離れ、県南や県外の借り上げ型みなし仮設住宅や親戚宅等へ避難している方もいらっしゃいます。ここに改めて哀悼の意を表し、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

こうした災害を受け、県内の全市町社会福祉協議会等に「地域支え合いセンター」が設置されました。地域支え合いセンターでは、被災者の孤立防止等のため、「生活支援相談員」が建設型仮設住宅や借り上げ型のみなし仮設住宅等に転居された方々、自宅で暮らし続ける方々を訪問し、見守り活動や日常生活上の相談を受け関係機関につなぐなどして生活再建や自立への支援を行っています。その他、住民同士のつどいの場づくり、地域交流の促進など、被災者に対する支援を一体的に実施しています。

また、石川県社会福祉協議会では、市町地域支え合いセンターを支援するため、「石川県地域支え合いセンター」を石川県から受託し、人材育成のための各種研修会・会議の開催、アドバイザー派遣、関係団体との連絡調整等を実施しています。

本冊子では、令和6年度の県内地域支え合いセンターの実績をまとめました。被災地の復興はいまだ道半ばであり、地域支え合いセンターも被災者の生活再建に向けての第一歩を踏み出したばかりであります。復興に向けた最初の1年間の取組の記録としてご参考いただければ幸いです。

令和7年8月

社会福祉法人石川県社会福祉協議会

石川県地域支え合いセンター

目次

1. 石川県内地域支え合いセンターの設置・運営について

(1) 設置状況・運営体制	2
①被災9市町（建設型仮設住宅が設置された市町）	
②県南10市町（建設型仮設住宅が設置されていない市町）	
(2) 主な活動内容	4
①市町地域支え合いセンター	
②石川県地域支え合いセンター	
(3) 被災者の見守り支援について	4

2. 令和6年度石川県内地域支え合いセンターの活動状況

(1) 被災9市町（建設型仮設住宅が設置された市町）の活動状況	7
①輪島市ささえあいの風センター	
②珠洲ささえ愛センター	
③能登町地域ささえあいセンター	
④ささえあいセンター穴水	
⑤七尾市地域支え合いセンター	
⑥志賀町地域支え合いセンター	
⑦中能登町地域支え合いセンター	
⑧羽咋市地域支え合いセンター	
⑨地域支え合いセンター内灘	
(2) 県南10市町（建設型仮設住宅が設置されていない市町）の活動状況	39
①石川県地域支え合いセンター金沢	
②石川県地域支え合いセンター小松	
③石川県地域支え合いセンター加賀	
④石川県地域支え合いセンターかほく	
⑤石川県地域支え合いセンター白山	
⑥石川県地域支え合いセンター能美	
⑦石川県地域支え合いセンター野々市	
⑧石川県地域支え合いセンター川北	
⑨石川県地域支え合いセンター津幡	
⑩石川県地域支え合いセンター宝達志水	

4. 巻末資料

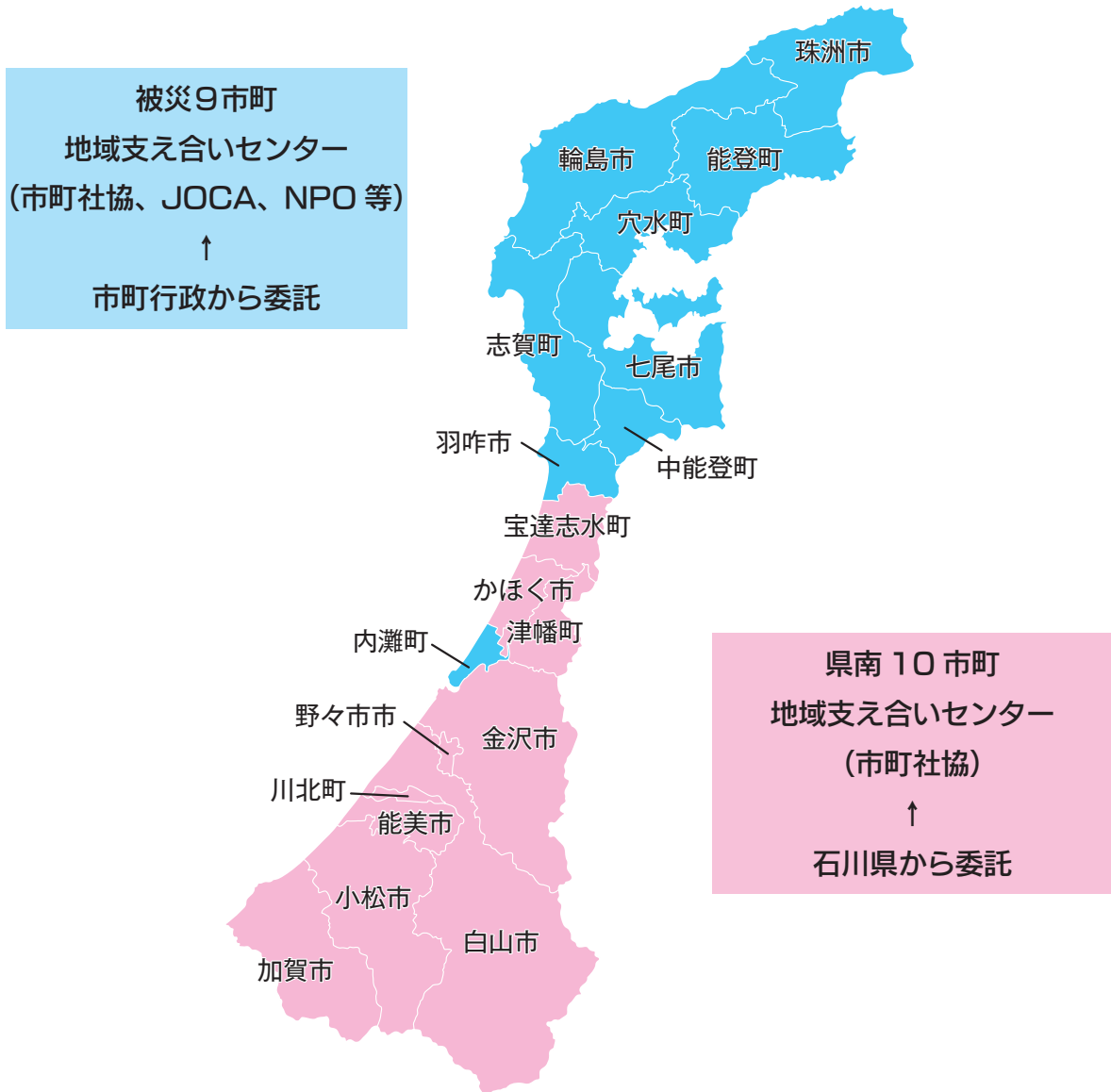
(1) 石川県内の被害状況について 72

- ①死者・負傷者数
- ②住家被害
- ③建設型仮設住宅の設置戸数

(2) 訪問等の状況（令和6年度） 75

- ①被災9市町
- ②県南10市町

～石川県内地域支え合いセンターの設置状況（令和6年度）～



石川県地域支え合いセンター（石川県社協） ←石川県から委託

1. 石川県内地域支え合いセンターの設置・運営について

(1) 設置状況・運営体制

本県および建設型仮設住宅が設置された市町では、令和6年3月以降、被災者の孤立防止等のための見守り支援や、日常生活上の相談を行う「被災者見守り・相談支援等事業」を実施し、地域支え合いセンターを設置しています。県内全ての市町で地域支え合いセンターが設置され、市町社協やNPO法人等が運営を担っています。(石川県内の地域支え合いセンターの設置状況や運営形態は以下のとおりです。)

①被災9市町（建設型仮設住宅が設置された市町）

運営形態：各市町からの委託により、市町社会福祉協議会等が運営

見守り対象者：建設型仮設住宅、みなし仮設住宅、在宅の被災者

市町	受託団体
輪島市ささえあいの風センター	輪島市社会福祉協議会
	青年海外協力協会（JOCA）
珠洲市ささえ愛センター	珠洲市社会福祉協議会
	日本医療ソーシャルワーカー協会
	特定非営利活動法人 YNF
能登町地域ささえあいセンター	青年海外協力協会（JOCA）
	能登町社会福祉協議会
	石川県相談支援専門員協会
ささえあいセンター穴水	穴水町社会福祉協議会
七尾市地域支え合いセンター	七尾市社会福祉協議会
志賀町地域支え合いセンター	志賀町社会福祉協議会
中能登町地域支え合いセンター	中能登町社会福祉協議会
羽咋市地域支え合いセンター	羽咋市社会福祉協議会
地域支え合いセンター内灘	内灘町社会福祉協議会

②県南10市町（建設型仮設住宅が設置されていない市町）

運営形態：石川県からの委託により、市町社会福祉協議会が運営

見守り対象者：みなし仮設住宅に入居した被災者、親類宅等へ広域避難中の被災者

市町	受託団体
石川県地域支え合いセンター金沢	金沢市社会福祉協議会
	石川県社会福祉士会
石川県地域支え合いセンター小松	小松市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター加賀	加賀市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンターかほく	かほく市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター白山	白山市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター能美	能美市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター野々市	野々市市社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター川北	川北町社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター津幡	津幡町社会福祉協議会
石川県地域支え合いセンター宝達志水	宝達志水町社会福祉協議会

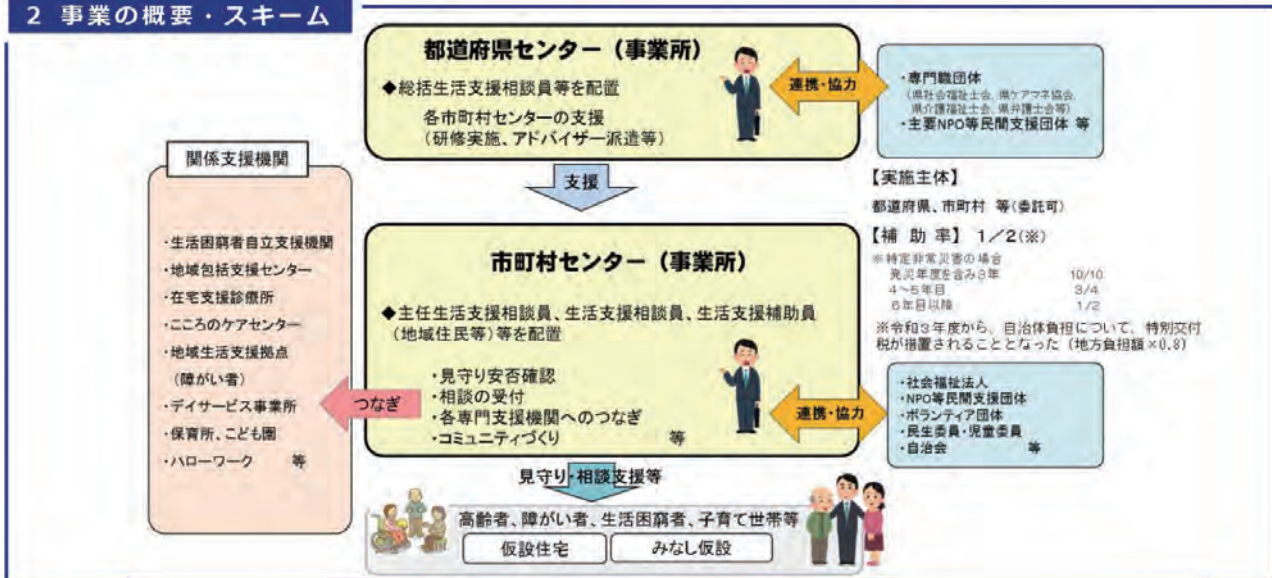
被災者見守り・相談支援等事業

1 事業の目的

被災者は災害救助法に基づく応急仮設住宅に入居するなど、被災前とは大きく異なった環境に置かれることとなる。このような被災者が、それぞれの環境の中で安心して日常生活を営むことができるよう、孤立防止等のための見守り支援や、日常生活上の相談を行ったうえで被災者を各専門相談機関へつなぐ等の支援を行う。

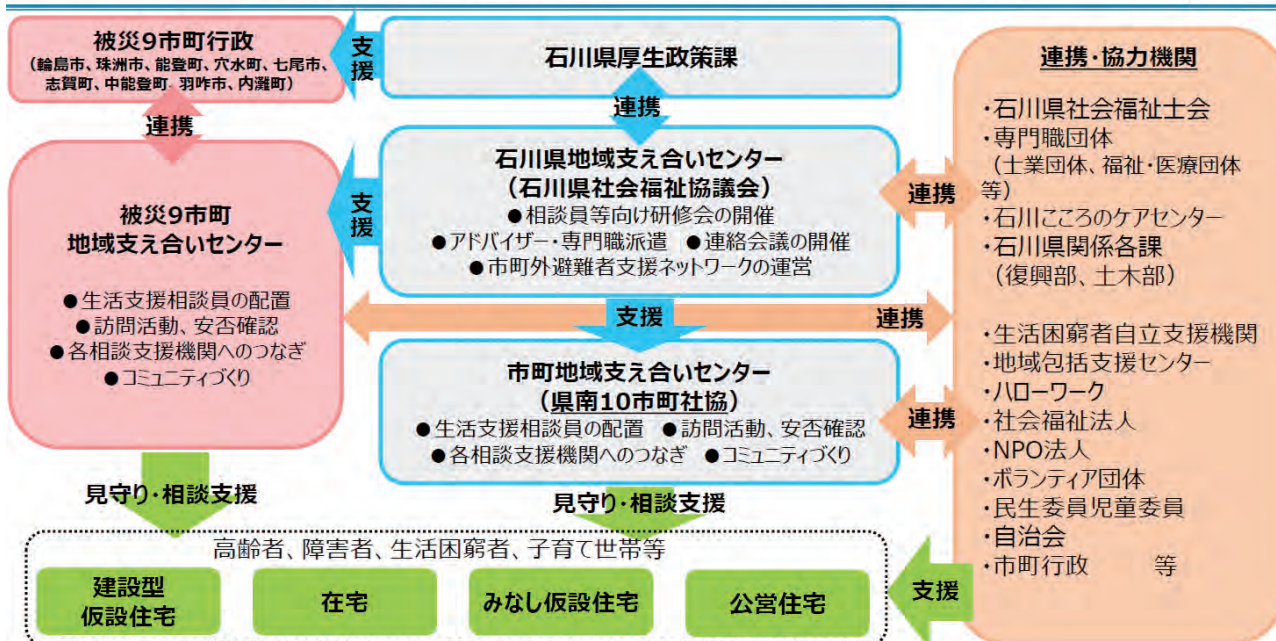
(令和5年度時点で事業を実施している災害:平成30年7月豪雨、令和元年台風19号、令和2年7月豪雨、令和3年7月1日からの大雨、令和4年8月3日からの大雨、令和4年度台風第15号、令和5年奥能登地震、令和5年7月14日からの大雨災害)

2 事業の概要・スキーム



出典：厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/content/12000000/001364691.pdf>)

石川県における被災者見守り・相談支援等事業 実施体制



R6.7.1 現在

(2) 主な活動内容

①市町地域支え合いセンター

生活支援相談員等による孤立防止のための見守り・生活支援、適切な専門機関へのつなぎ・地域交流などを含む総合的な支援体制のもと、地域の事情に応じた支援活動を推進しています。

1. 被災者の総合窓口として相談受付、訪問等による被災者の生活状況の確認・見守り、課題把握とその対応
2. 把握した生活課題に対する専門機関へのつなぎや制度の利用援助
3. 健康づくりやサロン活動等の実施、調整

②石川県地域支え合いセンター

市町地域支え合いセンターの設置に伴い、地域支え合いセンターの運営等に関する相談支援、人材育成、専門職等の関係団体との連携協働による後方支援を行います。

1. 人材育成：基礎研修・管理者（主任）研修の開催
2. 専門職派遣：専門職（士業等）、研修講師等の派遣
3. 連絡会議の開催：関係団体との連携会議、実践事例情報交換会の開催
4. 広域避難者支援：被災地・避難先社協間で情報共有、同行訪問、つなぎ等支援
5. 広報活動：必要な情報を提供するためのチラシや広報誌等の作成

(3) 被災者の見守り支援について

訪問活動には、アセスメントシート（5～6ページ参照）を活用し、被災者の生活状況や困りごとの把握を行っています。アセスメントの結果については、サイボウズ株式会社のkintone（キントーン）をベースとしたシステムにて管理し、4段階の支援区分に判定しています。（一部の市町支え合いセンターでは独自のアセスメントシートやシステムを導入しています）

市町地域支え合いセンターでは、アセスメントシートの結果を元に、適宜、関係機関と生活課題、生活再建で課題を抱えている世帯のケース会議等を開催し、被災者への具体的な支援方法を検討しています。

記入日時 年 月 日
午前/午後 時

石川県地域支え合いセンター訪問シート

訪問・記録者	方法	□訪問 □TEL □その他			
被災前住所	〒 ()				
現住所	□建設型仮設 □みなし仮設 □公営住宅 □在宅 □その他 〒 ; 住所 ;				
住民票の住所					
世帯主	フリガナ	セイ	メイ	生年月日	年 月 日
	氏名	姓	名	性別	□男 □女 □その他
	フリガナ	セイ	メイ	生年月日	年 月 日
	氏名	姓	名	性別	□男 □女 □その他
	フリガナ	セイ	メイ	生年月日	年 月 日
	氏名	姓	名	性別	□男 □女 □その他
	フリガナ	セイ	メイ	生年月日	年 月 日
	氏名	姓	名	性別	□男 □女 □その他
	フリガナ	セイ	メイ	生年月日	年 月 日
	氏名	姓	名	性別	□男 □女 □その他
いずれか記入	電話番号	□携帯電話 () □本人以外の連絡先の場合チェック (□家族 □知人 □その他)			
	メールアドレス	□固定電話 ()			
	メーアドレス	なし	□連絡手段なし		

1. 世帯のアセスメント

要配慮事項 (任意)	<input type="checkbox"/> 高齢の女世帯 <input type="checkbox"/> 高齢半身世帯 <input type="checkbox"/> ひきこもり <input type="checkbox"/> 病気・怪我 <input type="checkbox"/> 妊産婦 <input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 障害者 (身体) <input type="checkbox"/> 障害者 (知的) <input type="checkbox"/> 障害者 (精神) <input type="checkbox"/> 要介護 <input type="checkbox"/> 医療機器 <input type="checkbox"/> ペット <input type="checkbox"/> 外国人 <input type="checkbox"/> その他 ()
罹災証明	<input type="checkbox"/> 取得済み <input type="checkbox"/> 申請中・申請予定 <input type="checkbox"/> 申請しない
住家の被害状況	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明
世帯の収入	<input type="checkbox"/> 就労・自営業等により収入あり <input type="checkbox"/> 年金で生活 <input type="checkbox"/> 預貯金で生活 <input type="checkbox"/> 求職中 <input type="checkbox"/> 生活保護等の支援を受けている <input type="checkbox"/> その他 ()
住宅再建の方針	<input type="checkbox"/> 自力再建の予定 <input type="checkbox"/> 自力再建したいが時間がかかる <input type="checkbox"/> 自力再建が難しい <input type="checkbox"/> 公的支援を希望する <input type="checkbox"/> 住居再建について考えられない、考えたくない、見通しなし
特記事項	

2. 個人のアセスメントの調査

フリガナ	セイ	メイ	性別	□男 □女 □その他
氏名	姓	名	職業 (任意)	
医療的サポートの利用の有無	<input type="checkbox"/> 有 (□定期的投票が必要) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (□要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □介護区分不明) (利用している居宅介護支援事業所名:) <input type="checkbox"/> 有 (□身体障がい者手帳 □精神障害者保健福祉手帳 □障害手帳) <input type="checkbox"/> 無			
介護・福祉サービスの利用の有無	<input type="checkbox"/> 有 (利用している事業所名:) <input type="checkbox"/> 無			
聞き取り項目	1	体調に不安がある	□ はい	□ いいえ
	2	金銭面に関して困っている	□ はい	□ いいえ
	3	災害で大切な人を亡くし悲しみや喪失感がある	□ はい	□ いいえ
	4	近くに住む連絡の取れる家族や親せきがない	□ はい	□ いいえ
	5	近隣住民やコミュニティとのかわりがない	□ はい	□ いいえ
	6	移動の手段等で困っている	□ はい	□ いいえ
	7	市町からのお知らせが届いているか	□ はい	□ いいえ
	1	部屋の片づけに不安がある	□ はい	□ いいえ
	2	清潔感や身だしなみに不安がある	□ はい	□ いいえ
	3	異臭がある	□ はい	□ いいえ
	4	アルコールに関して不安がある	□ はい	□ いいえ
	5	顔色があまりよくない	□ はい	□ いいえ
	6	話す様子から不安がある	□ はい	□ いいえ
	7	支援制度の活用で不満や拒否感がある	□ はい	□ いいえ
	8	家族と円滑に関わっていない、関係が良好ではない	□ はい	□ いいえ
	9	情報の理解や、社会的な手続きが難しい	□ はい	□ いいえ
	10	訪問拒否あり	□ はい	□ いいえ
次回訪問	次回訪問日 (特別に必要な場合に記入) 月 日			判定区分
特記事項				

ご提供いただいた個人情報、令和6年能登半島地震に関して適切な支援*1、情報提供*2、対応の検証を行う目的で、被災市町、広域避難者の受入市町村、都道府県、学術研究機関、民間の支援団体等に必要範囲で共有することに同意します。

*1 石川県地域防災計画における被災者への支援 (義援金配分・安否確認・情報分析等)、*2 各種支援制度の周知 等

個人情報の共有に関する同意: 確認済

記入日時 年 月 日
午前/午後 時

石川県生活再建意向調査シート

訪問・記録者	方法	<input type="checkbox"/> 訪問 <input type="checkbox"/> TEL <input type="checkbox"/> その他
現住所	<input type="checkbox"/> 建設型仮設 <input type="checkbox"/> みなし仮設 <input type="checkbox"/> 公営住宅 <input type="checkbox"/> その他	
世帯主	フリガナ	セイ
	氏名	姓
	電話番号	携帯電話 ()
	メールアドレス	固定電話 ()
生活再建の意向	なし <input type="checkbox"/> 連絡手段なし	
世帯人員数	世帯類型	<input type="checkbox"/> 夫婦のみ <input type="checkbox"/> 3世代同居 <input type="checkbox"/> 単身 <input type="checkbox"/> その他
要配慮事項 (任意)	高齢のみ世帯 <input type="checkbox"/> 高齢単身 <input type="checkbox"/> ひきこもり <input type="checkbox"/> 母子 <input type="checkbox"/> 病気・怪我 <input type="checkbox"/> 妊産婦 <input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 障害者(身体) <input type="checkbox"/> 障害者(知的) <input type="checkbox"/> 障害者(精神) <input type="checkbox"/> 要介護 <input type="checkbox"/> 医療機器 <input type="checkbox"/> ペット <input type="checkbox"/> 外国人 <input type="checkbox"/> その他 ()	
罹災証明	<input type="checkbox"/> 取得済み <input type="checkbox"/> 申請中・申請予定 <input type="checkbox"/> 申請しない	
住家の被害状況	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	
住宅再建の方針	<input type="checkbox"/> 自分又は家族で新築・購入する <input type="checkbox"/> 今の自宅を修繕する <input type="checkbox"/> 災害公営住宅に入居する <input type="checkbox"/> 市営・県営住宅(災害公営住宅を除く)に入居する <input type="checkbox"/> 民間のアパートや賃貸等を借りる <input type="checkbox"/> 親族の家に同居する <input type="checkbox"/> 決まっていない・決められない	
再建場所の方針	<input type="checkbox"/> 現地再建を希望 <input type="checkbox"/> 震災時と違う場所だが同じ市内を希望 <input type="checkbox"/> 元の市町村以外の場所を検討している <input type="checkbox"/> 石川県外を検討している <input type="checkbox"/> 決まっていない	
再建の目処	<input type="checkbox"/> 目処が立っている <input type="checkbox"/> 資金面が心配 <input type="checkbox"/> 物件探しや家賃が心配 <input type="checkbox"/> 手続きが心配 <input type="checkbox"/> 目処は立っていない	
現在の生活	<input type="checkbox"/> 満足している <input type="checkbox"/> なんとか暮らしている <input type="checkbox"/> 心配である <input type="checkbox"/> 暮らしていない <input type="checkbox"/> よくわからない	
特記事項		

表 被災者の支援区分

支援区分	訪問頻度	状況
1 生活再建可能世帯	半年～2カ月に1回程度	住まいの再建方針や再建時期が決まっており、日常生活において特に大きな問題が見られない世帯
2 日常生活支援世帯	月1回程度	住まいの再建方針や再建時期は決まっているが、健康面に課題を抱えているため、日常生活において継続的な支援が必要な世帯
3 住まいの再建支援世帯	月2回程度	住まいの再建方針が未定である世帯や、資金面、就労、家族関係などに課題を抱えているため、定期的な個別訪問や支援が必要な世帯
4 日常生活・住まいの再建支援世帯	月4回程度	住まいの再建に関して課題を抱えているだけでなく、日常生活においても、健康面、生活資金、就労、家族間トラブル等を抱えているため、定期的な個別訪問や支援が必要な世帯

2. 令和6年度石川県内地域支え合いセンターの活動状況

(1) 被災9市町(建設型仮設住宅が設置された市町)の活動状況

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績の集計について

■支援件数の集計について

- ・支援の種類別の合計件数を支援対象毎に記入
- ・「訪問件数」「電話」
 - 訪問し面会できた場合＝「訪問件数」「面会できた件数」の両方に1カウント
 - 訪問したが不在だった場合＝「訪問件数」に1カウント
 - 電話・訪問の両方した場合＝「訪問件数」「面会できた件数」「電話」の3つに1カウント
 - 電話して訪問したが不在だった場合＝「訪問件数」「電話」の両方に1カウント
 - 電話したが訪問拒否だったため、訪問しなかった場合＝「電話」だけ1カウント
- ・「来所」「その他」
 - センターや事務所等に来所された場合＝「来所」に1カウント
 - 集いの場、イベントなどで面会できた場合＝「その他」に1カウント

■相談内容の集計について

- ・訪問、電話、来所等で相談のあった件数を内容毎に記入
- ・相談内容が複数ある場合には、1件にまとめるのではなく、内容毎に件数をカウント
 - 1世帯から家族関係・経済面両方の相談があった場合＝「家族関係」「経済面」の両方に1カウント

【相談内容の例一覧】

家族関係・・・家族との不和、死別・離別、子育ての関係、孤立、身元保証人の不在
経済面・・・経済的困窮、経済的な不安
居住関係（仮設）・・・仮設住まいへの不満
居住関係（再建）・・・今後の住まいの再建に関する不安
就労関係・・・離職、再就職、仕事でのトラブル
介護・福祉関係・・・高齢者の介護、身体的病気・障がい、精神的病気・障がい
健康・医療関係・・・健康の不安、心身の不調
その他・・・人間関係のトラブル 等

■他機関へのつなぎ件数の集計について

- ・つなぎ先毎に、他機関へつないだ件数の合計件数を支援対象毎に記入
- ・つなぎ先が複数ある場合には、1件にまとめるのではなく、つなぎ先毎に件数をカウント
 - 1世帯を行政・医療機関の両方につないだ場合＝「行政」「医療機関」の両方に1カウント

1. 地域支え合いセンターの体制等

- (1) 活動拠点 施設名：輪島市社会福祉協議会
住 所：輪島市河井町 13 部 120 番地 1

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他見守り支援員	合計
1	1	1	4	0	20	27

(3) 見守り対象：在宅の被災者

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

① 情報共有会議（輪島 / 東部地区）

- ア. 開催回数：週 1 回（毎木曜日午後 1 時 30 分から）
31 回 / 年

イ. 参加対象：社協（主任生活支援相談員）、市行政、警察、基幹相談支援センター 他

ウ. 主な内容：要配慮者情報共有、ケース打ち合わせ、訪問方針等の確認

② 情報共有会議（門前地区）

- ア. 開催回数：週 1 回（毎水曜日午後 2 時 30 分から）33 回 / 年

イ. 参加対象：社協（主任生活支援相談員）、市行政

ウ. 主な内容：要配慮者情報共有、ケース打ち合わせ、訪問方針等の確認

③ 班内判定会議

- ア. 開催回数：週 1 回（毎火曜日午後 2 時から）17 回 / 年

イ. 参加対象：生活支援相談員

ウ. 主な内容：見守り支援員が訪問した全ケースについて再訪問、支援の可否を協議

④ 班内ケース検討会議

- ア. 開催回数：週 1 回（毎金曜日午後 2 時から）17 回 / 年

イ. 参加対象：生活支援相談員

ウ. 主な内容：要支援者の状況、対応内容を協議

⑤ 班内体制会議

- ア. 開催回数：月 1 回（月末最終金曜日午後 4 時から）5 回 / 年

イ. 参加対象：生活支援相談員

ウ. 主な内容：班の体制、事業の方向性について目線合わせを行う



⑥ その他会議

ア. 開催回数：42回

イ. 参加対象：市行政、社協、地域ボランティア、民生委員、老人クラブ会長、住民等

ウ. 主な内容：事業の打ち合わせ、地域資源の発掘と整理、要配慮者の情報共有、サロン等地域活動推進についての協議



(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

① 被災者サロン

ア. 開催回数：39回（参加者数 延べ982人）

(内4回 白山市、内灘町、金沢市、野々市市広域避難者サロンに参加)

イ. 参加対象：地域住民（仮設住宅、自宅等で暮らす住民問わず）

ウ. 主な内容：被災者の現在の生活状況のアセスメント、傾聴、相談
日常生活に取り入れる介護予防知識、体操、
脳トレ、輪島かるた、マッサージ、メイク講座等

② 相談会開催

ア. 開催回数：10回（12月～2月）

イ. 参加対象：地域住民（仮設住宅、自宅等で暮らす住民問わず）

ウ. 主な内容：建築士による住宅の修理、住宅周囲の環境に関する相談

③ 相談会協力

ア. 開催回数：8回（10月）

イ. 参加対象：奥能登豪雨の被災者

ウ. 主な内容：技術ボランティアによる水害被災後の
家屋応急処置説明会

(3) 研修会の開催状況

① 新任研修（見守り・相談支援班主催）

ア. 開催回数：都度

イ. 参加対象：新規採用職員

ウ. 主な内容：見守り・相談支援業務の概要、訪問時の
注意点等

② 職員スキルアップ研修会（見守り・相談支援班主催）

ア. 開催回数：13回

イ. 参加対象：見守り・相談支援班スタッフ

ウ. 主な内容：アセスメント方法、水害被災宅への訪問時の注意、被災者の心のケア、
住宅融資・被災者支援制度、生活困窮制度、輪島の課題（地域資源）、
支援から仕組みを作る方法、ITを活用した業務改善、傾聴方法、訪問の
振り返りまとめ等

③ 職員スキルアップ研修会（JOCA 主催）

ア. 開催回数：1 回

イ. 参加対象：見守り・相談支援班スタッフ

ウ. 主な内容：被災者への支援制度について

④ 職員スキルアップ研修（輪島市主催）

ア. 開催回数：4 回

イ. 参加対象：生活支援相談員、見守り支援員

ウ. 主な内容：被災者の心のケア、訪問アセスメントシートの活用、要約筆記講習会
東日本大震災における被災者生活支援の取り組み実践報告



⑤ 関係機関主催（石川こころのケアセンター）

ア. 開催回数：1 回

イ. 参加対象：生活支援相談員、見守り支援員

ウ. 主な内容：多重災害支援者のためのこころのケア研修会

（４）その他の事業の実施状況

① 広報活動

あいちゃん通信の発行 年 9 回（毎回 6000 部） 輪島市民、関係機関に配布

見守り・相談支援班ホームページ作成 10 回更新（URL:mimamoriwajima.com）

② 各種団体の支援調整

市民対象サロン支援、物資等の対応

訪問等同行支援に対する連絡調整

輪島市ささえあいの風センター（JOCA）の実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：修養館（青年海外協力協会 JOCA）

住 所：輪島市河井町 2-205

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他見守り支援員	合計
1		5	10.5	1	(16) (応援派遣等) (常勤換算)	17.5 (33.5)

(3) 見守り対象：建設型仮設住宅に入居した被災者

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①情報共有会議（輪島 / 東部地区）

ア. 開催回数：週1回 31回 / 年

イ. 参加対象：JOCA（主任生活支援相談員）、市行政、警察、基幹相談支援センター 他

ウ. 主な内容：要配慮者情報共有、ケース打ち合わせ、訪問方針等確認

②情報共有会議（門前地区） 33回 / 年

ア. 開催回数：週1回

イ. 参加対象：JOCA（主任生活支援相談員）、市行政

ウ. 主な内容：要配慮者情報共有、ケース打ち合わせ、訪問方針等確認

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①介護予防サロン

ア. 開催回数：週3回程度 126回 / 年

イ. 参加対象：仮設住宅入居者のうちフレイル予防が必要と思われる方

ウ. 主な内容：フラワーアレンジメント、ピラティス、ヨガ等の講座



②生活再建相談会

ア. 開催回数：2か月に1回程度 13回 / 年

イ. 参加対象：被災者

ウ. 主な内容：弁護士による再建支援制度の説明および個別相談



(3) 研修会の開催状況

① 新任研修

- ア. 開催回数：都度
- イ. 参加対象：新規スタッフ
- ウ. 主な内容：見守り相談支援の概要、訪問に関する留意点等の説明



② 生活再建支援制度勉強会

- ア. 開催回数：年2回
- イ. 参加対象：見守り相談スタッフ
- ウ. 主な内容：支援制度の概要についての理解促進

③ 職員スキルアップ研修（輪島市主催）

- ア. 開催回数：4回
- イ. 参加対象：生活支援相談員、見守り支援員
- ウ. 主な内容：被災者の心のケア、訪問アセスメントシートの活用、要約筆記講習会
東日本大震災における被災者生活支援の取り組み実践報告

(4) その他の事業の実施状況

① 移動支援

- ア. 開催回数：週2回～3回 423名・156回/年
- イ. 参加対象：仮設住宅入居者等
- ウ. 主な内容：買い物やプログラム参加にかかる移動支援便の運行



② 石川県こころのケアセンターとの連携

- 週1回程度、石川県こころのケアセンターと連携してメンタルに不安のある方を訪問

③ 自治会運営支援

- 各団地における自治組織立ち上げおよび運営支援

④ 地域資源調査

- 公民館等の社会資源の状況調査、マッチング



⑤ 水害対応

- 水害時退去支援及びボランティア受け入れ調整

⑥ 雪対策

- むしろ配布および大雪除雪等自治会支援

⑦ 年末年始の交流サロン

- アニバーサリー反応等の対策として、年末年始の集会施設開放支援

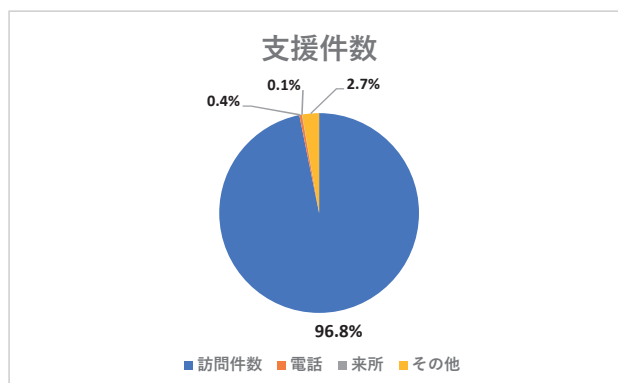
⑧ 各種団体の支援調整

- 仮設住宅等で活動される支援団体のマッチングおよび参加勧奨等支援

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（輪島市 ※輪島市社協・JOCA合算）
 （R6.6～R7.3末現在） ※R6.6月より集計開始

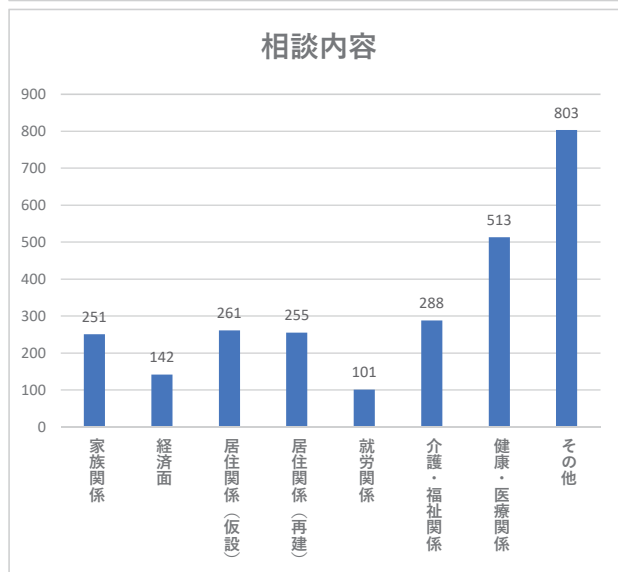
■支援件数

訪問件数	面会できた件数	電話	来所	その他	合計



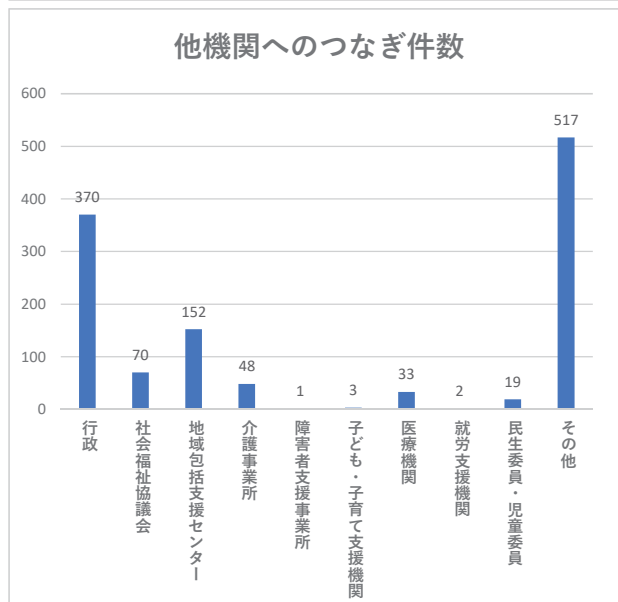
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
251件	142件	261件	255件	101件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
288件	513件	803件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者支援 事業所	合計
370件	70件	152件	48件	1件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
3件	33件	2件	19件	517件	



■見守り対象者数（R6.6～R7.3末）

単位：世帯

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	2800	2800	2669	2830	2980	2980	2897	2897	2925	2925
みなし仮設	74	74	74	0	0	0	0	0	0	0
在宅	3000	5500	4900	5500	5500	5500	5500	5500	5500	5500
その他	0	0	600	548	0	0	0	0	0	0
計	5874	8374	8243	8878	8480	8480	8397	8397	8425	8425

珠洲ささえ愛センターの実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

- (1) 活動拠点 施設名：珠洲ささえ愛センター
住所：珠洲市飯田町10-60-1

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他見守り支援員	合計
1	1	5	18	2	0	27

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

① エリア会議

- ア. 開催回数：2回/月
- イ. 参加対象：行政・被災者見守り相談支援事業受託団体
- ウ. 主な内容：担当エリアごとの連絡・報告・検討等の情報共有

② 情報共有会議

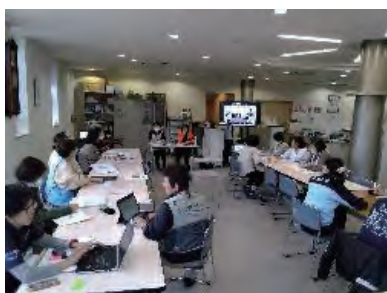
- ア. 開催回数：2回/月
- イ. 参加対象：行政・被災者見守り相談支援事業受託団体
- ウ. 主な内容：エリア会議であがった地域課題の検討や各組織の情報共有

③ ヘッド会議

- ア. 開催回数：2回/月
- イ. 参加対象：行政・被災者見守り相談支援事業受託団体
- ウ. 主な内容：意思決定・スケジュール計画

④ 生活支援ネットワーク会議

- ア. 開催回数：1回/月
- イ. 参加対象：市行政・被災者見守り相談支援事業受託団体・市内福祉事業所
医療/福祉外部支援組織・災害ボランティアセンター（以下、災害VC）・技術系NPO
- ウ. 主な内容：市内福祉施設や災害VCを含めた各団体の活動状況等の情報共有



(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①健康相談会

- ア. 開催回数：96回
- イ. 参加対象：地域住民
- ウ. 主な内容：看護師による健康相談の実施



②サロン&イベント

- ア. 開催回数：224回
- イ. 参加対象：地域住民
- ウ. 主な内容：お茶会やイベントの実施



(3) 研修会の開催状況

①珠洲ささえ愛センター研修会

- ア. 開催回数：6回
- イ. 参加対象：珠洲ささえ愛センター職員
- ウ. 主な内容：訪問の手法について・災害時の訪問活動について・男性の役割について
ささえ愛センターの未来について・巡回見守り設計のルールについて
求められる総合的な調整と地域福祉の展開

②AED及び消火器の利用講習

- ア. 開催回数：令和6年8月1日（木）
- イ. 参加対象：珠洲ささえ愛センター職員
- ウ. 主な内容：珠洲消防署によるAED及び消火器の適切な利用方法の講習

③kintone 操作講習

- ア. 開催回数：令和6年7月11日（木）～12日（金）
- イ. 参加対象：珠洲ささえ愛センター職員
- ウ. 主な内容：kintone の基本的な操作方法の講習

④住まいの再建に関する課題について

- ア. 開催回数：令和6年7月24日（水）
- イ. 参加対象：珠洲ささえ愛センター職員
- ウ. 主な内容：住まいの再建に係る制度やヒアリング方法について

⑤災害時の支援者に対するセルフケア研修

- ア. 開催回数：令和6年11月22日（金）
- イ. 参加対象：珠洲ささえ愛センター職員
- ウ. 主な内容：自分の感情状態を知る為の体験型研修

⑥心のケアとコミュニティ研修

- ア. 開催回数：令和6年11月27日（水）
- イ. 参加対象：珠洲ささえ愛センター職員
- ウ. 主な内容：心のケアについて



(4) その他の事業の実施状況

①家屋浸水被害の応急対応相談会

- ア. 開催回数：8回
- イ. 参加対象：地域住民
- ウ. 主な内容：公民館や避難所に出向き、水害被害を受けた家屋での対応方法や災害VCへのつなぎの実施



②能登ふるさとバス（野々市市社協・県社協と共催）

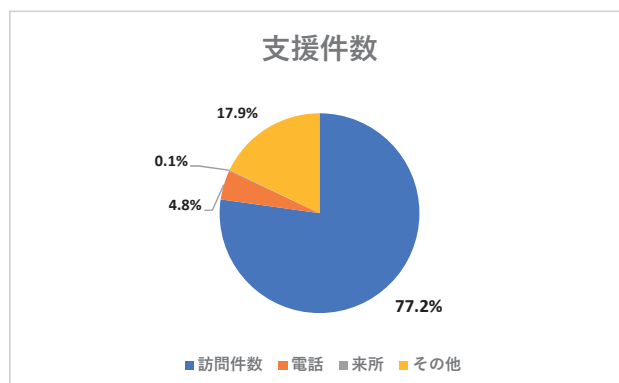
- ア. 開催回数：1回（令和7年3月4日（火））
- イ. 参加対象：珠洲市から野々市市に避難している方
- ウ. 主な内容：野々市市よりバスを運行し、珠洲ささえ愛センター職員との交流及び市内巡回

③県南の被災者サロンへの参加協力

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（珠洲市）
（R6.4～R7.3末現在）

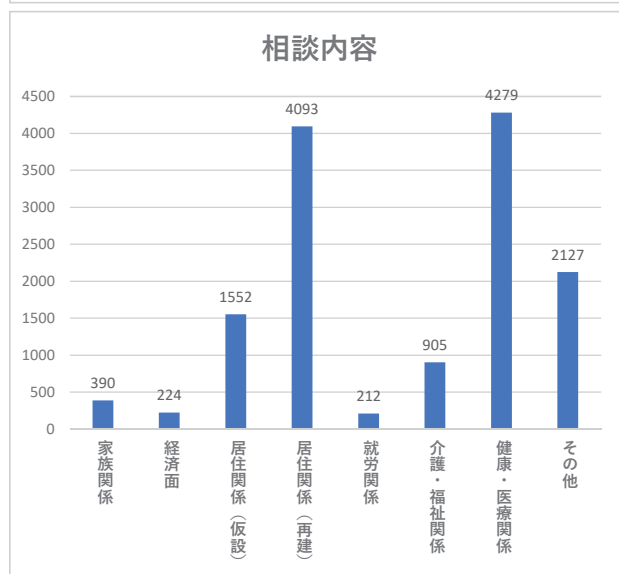
■支援件数

訪問件数	面会できた件数	電話	来所	その他	合計



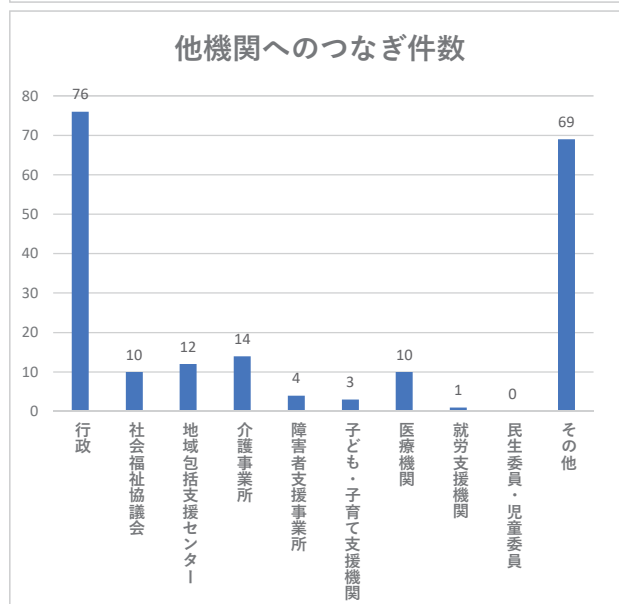
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
390件	224件	1,552件	4,093件	212件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
905件	4,279件	2,127件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計
76件	10件	12件	14件	4件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
3件	10件	1件	0件	69件	



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	246	601	1436	764	1010	759	1118	1173	1393	1718	1718	1718
みなし仮設	0	0	0	0	0	2	32	1	3	15	14	15
在宅	1	0	56	90	213	302	699	814	1003	3722	3698	3669
その他	0	0	13	323	346	258	357	428	326	0	0	0
計	247	601	1505	1177	1569	1321	2206	2416	2725	5455	5430	5402

能登町地域ささえあいセンター（社協）の実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：能登町内浦総合支所（能登町社会福祉協議会）

住 所：鳳珠郡能登町松波13-75-1

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他見守り支援員	合計
1	1	1	16	3	3	25

(3) 見守り対象：在宅の被災者

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①定例会

ア. 開催回数：月1回程度

イ. 参加対象：社協（生活支援相談員、事務員、地域支え合いセンター以外の職員）

ウ. 主な内容：活動における情報交換等

②各センターミーティング

ア. 開催回数：毎月2回程度

イ. 参加対象：社協（生活支援相談員、事務員、地域支え合いセンター以外の職員）

ウ. 主な内容：被災者支援に関する制度、活動内容の確認

③見守り支援会議

ア. 開催回数：毎週1回

イ. 参加対象：町行政（健康福祉課・復興推進課・復興建築課）、社協、JOCA相談員

ウ. 主な内容：困りごと、情報共有、ケース会議（健康面、再建面）

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①イベントサロン（うえるのとカフェ）

ア. 開催回数：年3回（能都、柳田、内浦地区 各1回開催）

イ. 参加対象：再建目処が立ってない方、寂しさや孤独感を感じている方

ウ. 主な内容：土業等の相談会、ワークショップ、交流会



②地域サロン

- ア. 開催力所：6カ所
- イ. 参加対象：地域の高齢者
- ウ. 主な内容：サロン休会している地域に活動支援を行う。茶話会、ワークショップ等



(3) 研修会の開催状況

①相談員研修

- ア. 開催回数：年5回
- イ. 参加対象：社協（生活支援相談員、地域支え合いセンター以外の職員）、町行政
- ウ. 主な内容：①生活支援相談員の役割について
②災害時の訪問活動について
③東日本大震災や能登半島地震の活動から
④被災者への心のケア
⑤土業相談へのつなぎ



(4) その他の事業の実施状況

- ①特定非営利活動法人 YNF が実施する派遣型土業相談への同行訪問
 - ア. 訪問件数：3件（R7.3～）
 - イ. 参加対象：再建目処が立ってない方
 - ウ. 主な内容：土業へのつなぎ
- ②県南の被災者サロンへの参加協力
 - ア. 参加回数：4回
 - イ. 主な内容：能登町民参加者との面談等



能登町地域ささえあいセンター（JOCA）の実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

- (1) 活動拠点 施設名：JOCA 能登町
住 所：鳳珠郡能登町字宇出津ヲ字 40 番 3

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
1		1	2	4	2	10

(3) 見守り対象：建設型仮設住宅に入居した被災者

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①朝礼

- ア. 開催回数：毎日（30分程度）
- イ. 参加対象：全スタッフ
- ウ. 主な内容：前日の申し送り、情報共有、本日の活動報告、ラジオ体操等

②全体会議

- ア. 開催回数：毎月1回
- イ. 参加対象：全スタッフ
- ウ. 主な内容：1か月の振り返り、翌月の活動における情報共有等

③相談員会議

- ア. 開催回数：毎月1回
- イ. 参加対象：生活支援相談員
- ウ. 主な内容：1か月の振り返り、困りごと、お悔やみ、翌月の活動計画等

④見守り支援会議

- ア. 開催回数：毎週1回
- イ. 参加対象：町行政（健康福祉課・復興推進課・復興建築課）、社協、JOCA 相談員
- ウ. 主な内容：困りごと、情報共有、ケース会議（健康面、再建面）

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

R6年実績 162回

①足浴サロン

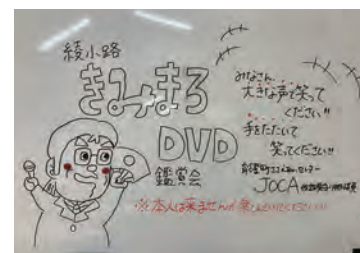
- ア. 開催カ所：仮設住宅集会所、公民館
- イ. 参加対象：仮設住宅に入居する住民、地域住民
- ウ. 主な内容：足浴、下肢マッサージ、爪切り



エ. 目的：リラックスした状態でコミュニケーションをとり、関係づくりをすること。
会話の中で困りごとや体調不安を聴き取りする。住民の交流

②漫談DVD上映会で笑いのサロン

- ア. 開催力所：仮設住宅集会所、公民館
イ. 参加対象：仮設住宅に入居する住民、地域住民
ウ. 主な内容：スクリーンで漫談DVDを上映する
エ. 目的：笑うことで、住民の心と体の健康に繋げる
住民の交流



③在所でしていた婦人会、季節の料理サロン

- ア. 開催力所：仮設住宅集会所、公民館
イ. 参加対象：仮設住宅に入居する住民、地域住民
ウ. 主な内容：住民主体で季節の料理をする（干し柿、赤飯、もちつき、おはぎ、ぜんざい）
エ. 目的：伝統、文化をたやすことなく季節になったらしていた行事ごとの料理をする、季節を感じるサロン。住民の交流



④お出かけサロン

- ア. 開催力所：仮設住宅集会所、公民館
イ. 参加対象：仮設住宅に入居する住民、地域住民
ウ. 主な内容：仮設住宅に入居する全住民を対象とし、皆でお出かけをする（お花見・お買い物サロンなど）
エ. 目的：仮設住宅に入居する住民の交流、季節の行事

(3) その他の事業の実施状況

①特定非営利活動法人 YNF が実施する派遣型士業相談への同行訪問

- ・対象：再建目処が立ってない方、罹災判定に納得できていない方、修繕方法に迷っている方
- ・主な内容：自宅を建築士・弁護士と訪問し、困りごとに応じて状況を確認し士業につなげる

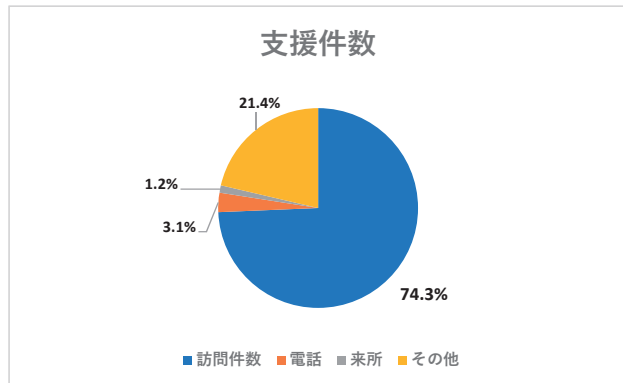
②外部サロンの受付（外部サロン実績：465回）

- ・体操、健康相談、リラクゼーション、お茶会、趣味・娯楽、その他（炊き出し、絵本読み聞かせ等）の外部サロンの調整

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（能登町 ※能登町社協・JOCA合算）
 （R6.6～R7.3末現在） ※R6.6月より集計開始

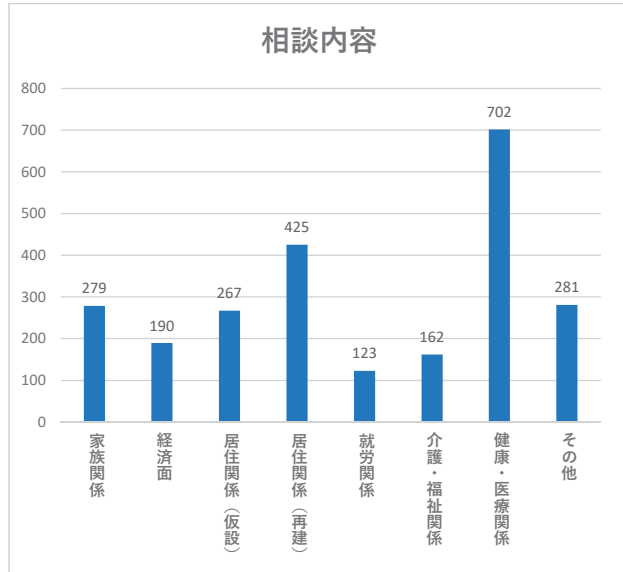
■支援件数

訪問件数	面会できた件数	電話	来所	その他	合計
15,033件	6,311件	631件	236件	4,321件	20,221件



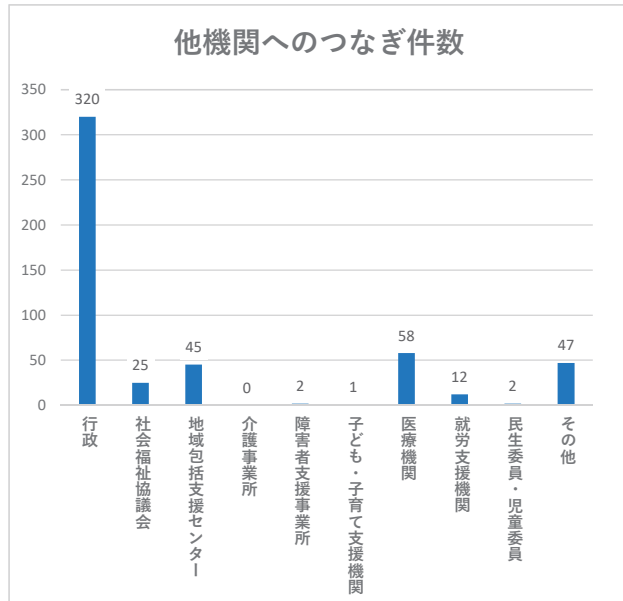
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計	
279件	190件	267件	425件	123件		2,429件
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他				
162件	702件	281件				



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計	
320件	25件	45件	0件	2件		512件
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他		
1件	58件	12件	2件	47件		



■見守り対象者数（R6.6～R7.3末）

単位：世帯

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	328	435	455	454	520	449	449	449	453	535
みなし仮設	0	0	9	0	9	19	20	19	22	21
在宅	630	748	902	1267	1185	1173	1184	1186	877	979
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
計	958	1183	1366	1721	1714	1641	1653	1654	1357	1540

ささえあいセンター穴水の実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：穴水町さわやか交流館プルート（穴水町社会福祉協議会）

住 所：鳳珠郡穴水町字大町トの3番地3

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
1		1	20	2	41	65

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①生活支援相談員定例会

ア. 開催回数：月1回

イ. 参加対象：社協（センター長、主任生活支援相談員、生活支援相談員、地域支え合いセンター以外の職員）、町行政（子育て健康課）、アドバイザー

ウ. 主な内容：研修会

②自治体連携会議（判定会議）

ア. 開催回数：月2回

イ. 参加対象：社協（主任生活支援相談員、生活支援相談員、地域支え合いセンター以外の職員）、町行政、アドバイザー

ウ. 主な内容：個別支援計画の検討

③自治体連携会議（ケース検討会議）

ア. 開催回数：月2回

イ. 参加対象：社協（主任生活支援相談員）町行政、県行政（生活保護担当部署）、穴水病院（作業療法士）、NPO支援団体

ウ. 主な内容：個別支援計画の検討

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①社協出張サロン

ア. 開催回数：月3回

イ. 参加対象：建設型仮設住宅・みなし仮設住宅・在宅の住民

ウ. 主な内容：おうたの会、工作、お茶会等



(3) 研修会の開催状況

①生活支援相談員定例会開催時に研修会併催

- ア. 開催回数：月 1 回
- イ. 参加対象：社協（センター長、主任生活支援相談員、生活支援相談員、地域支え合いセンター以外の職員）、町行政（子育て健康課）、アドバイザー
- ウ. 主な内容：被災者のこころのケア、緊急通報装置、個人情報取り扱い、AED、ゲートキーパーについて、心と体のリラックス、グリーフケアについて住まいの安心のために

(4) その他の事業の実施状況

①専門アドバイザー派遣事業

- ア. 開催回数：月 1 回
- イ. 参加対象：社協（センター長、主任生活支援相談員、生活支援相談員、地域支え合いセンター以外の職員）、町行政（子育て健康課）、アドバイザー
- ウ. 主な内容：ささえあいセンター穴水が開催するワークショップ（訪問してよかったことや悩み、コミュニティづくり、サロン活動、これからの防災対策ポイント、仮設住宅の熱中症対策・雪・寒さ対策等）に専門アドバイザーを派遣

②憩いの場・畑ワークショップ

- ア. 開催回数：月 1 回～ 3 回（季節に応じて活動数は変動）
- イ. 参加対象：被災者
- ウ. 主な内容：畑ワークショップ（古材を利用した木枠づくり・ベンチづくり、土入れ、講師の勉強会、看板づくり、花・野菜の苗植え等）



③在宅被災者訪問事業

- ア. 開催回数：週 2 回～ 3 回
- イ. 主な内容：在宅世帯の実態を把握するとともに今後の支援につなげることを目的に、民生・児童委員、地域推進委員、町行政（子育て健康課）、NPO 支援団体との連携・協働で全戸訪問を実施

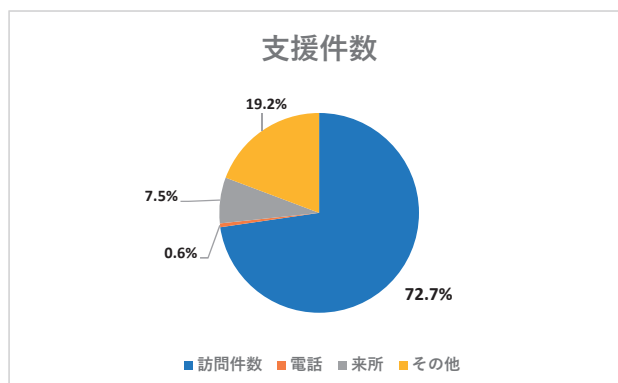


④県南の被災者サロンへの参加協力

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（穴水町） （R6.5～R7.3末現在） ※R6.5月より集計開始

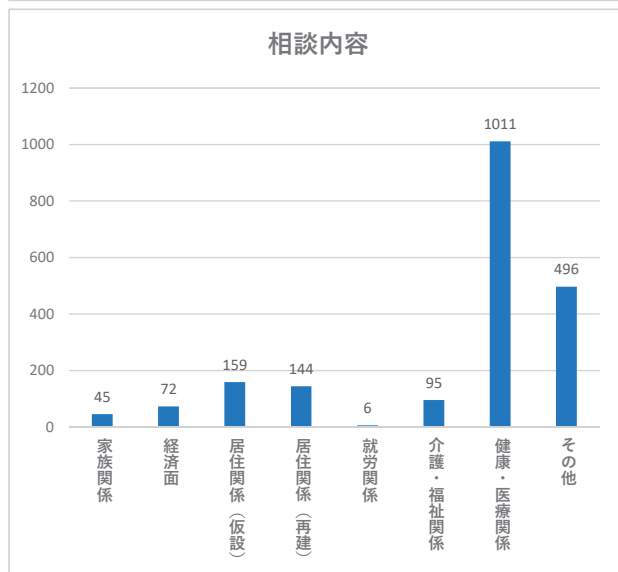
■支援件数

訪問件数	面会できた件数	電話	来所	その他	合計



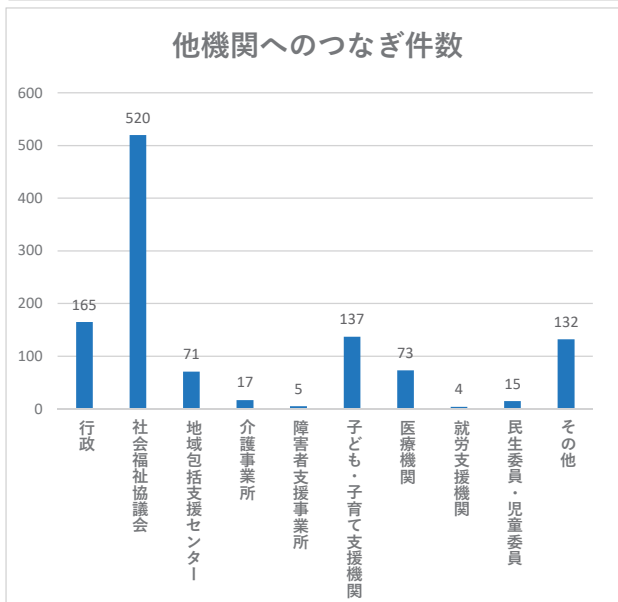
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
45件	72件	159件	144件	6件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
95件	1,011件	496件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計
165件	520件	71件	17件	5件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
137件	73件	4件	15件	132件	



■見守り対象者数（R6.5～R7.3末）

単位：世帯

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	165	449	532	515	519	528	528	523	525	525	524
みなし仮設	28	127	30	30	30	30	30	27	27	27	27
在宅	0	30	50	50	50	50	50	50	50	50	50
その他	0	0	8	8	8	8	8	8	8	8	8
計	193	606	620	603	607	616	616	608	610	610	609

七尾市地域支え合いセンターの実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：パトリア3階（七尾市社会福祉協議会）

住 所：七尾市御祓町1番地

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
1		2	7			10

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①支援調整会議・庁内連携会議

ア. 開催回数：月1回

イ. 参加対象：市行政(福祉課・高齢者支援課・健康推進課)、社協（主任生活支援相談員）

ウ. 主な内容：ケース検討、情報共有等

②福祉連携ケア会議

ア. 開催回数：隔週

イ. 参加対象：おらっちゃ七尾民間ボランティア(6団体)市行政(福祉課・高齢者支援課・健康推進課)、社協（主任生活支援相談員）

ウ. 主な内容：要配慮世帯のケースや課題、情報の共有

③人吉市地域支え合いセンター（熊本県）との連携会議（ZOOM）

ア. 開催回数：年1回

イ. 参加対象：社協（主任生活支援相談員）

ウ. 主な内容：人吉市地域支え合いセンターからの活動助言

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①専門職による合同無料相談会

ア. 開催回数：11月より毎週日曜日（通算20回）

イ. 参加対象：建設型仮設住宅・みなし仮設住宅・在宅の住民

ウ. 主な内容：弁護士、建築士、ファイナンシャルプランナー、住宅金融支援機構の4土業による住宅再建や法律、お金の相談

②あったかカフェ

ア. 開催回数：年1回

イ. 参加対象：みなし仮設住宅・市営住宅・定住促進住宅・県営住宅の入居者

ウ. 主な内容：4種類の健康測定や健康調査の聞き取り、交流、談話等

③万行カフェ

- ア. 開催回数：週1回
- イ. 参加対象：万行地区の仮設住宅の入居者、その他
- ウ. 主な内容：リハビリテーション講師による体操、お茶会

④矢田新カフェ

- ア. 開催回数：週1回
- イ. 参加対象：矢田新町地区の仮設住宅の入居者、その他
- ウ. 主な内容：レクリエーション協会の講座、お茶会

(3) 研修会の開催状況

①仮設住宅・復興住宅等の住民自治組織立ち上げの支援方法について

- ア. 開催回数：1回
- イ. 参加対象：社協（生活支援相談員）
- ウ. 主な内容：仮設住宅での自治会組織の立ち上げについての講義とグループワーク

(4) その他の事業の実施状況

①仮設住宅団地の自治会組織立ち上げ

- ア. 開催回数：15回
- イ. 参加対象：各仮設住宅団地の入居者
- ウ. 主な内容：自治会組織立ち上げについて住民の話し合いや班長会議、総会の参加等

②各仮設住宅団地の自治会長の打合せ会

- ア. 開催回数：1回
- イ. 参加対象：自治会長、世話人、班長（代表者）
- ウ. 主な内容：各自治会の取り組み紹介、情報共有

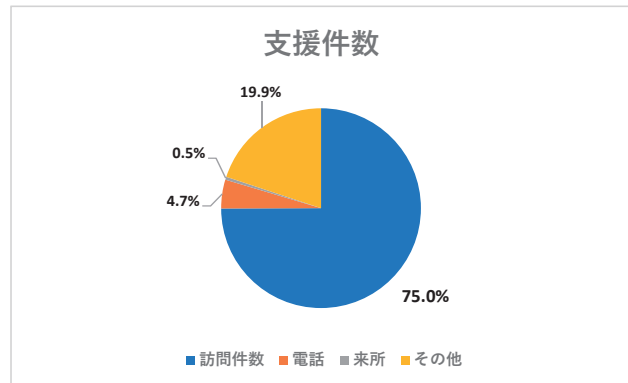
③県南の被災者サロンへの参加協力



被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（七尾市）
 (R6.4～R7.3末現在)

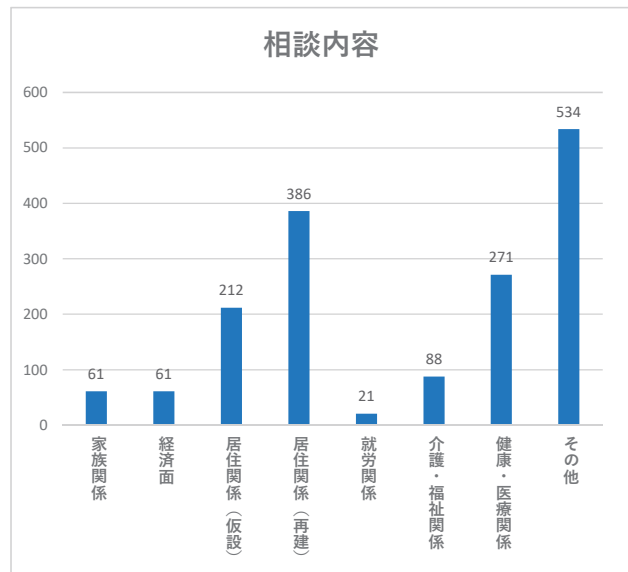
■支援件数

訪問件数	面会できた件数	電話	来所	その他	合計



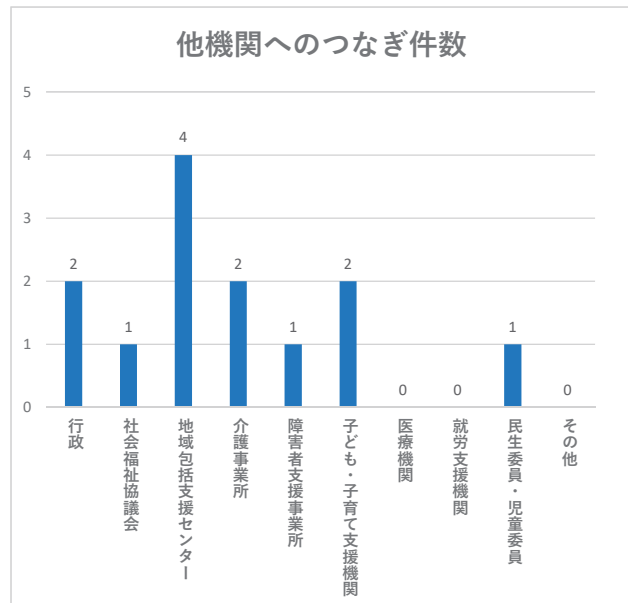
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
61件	61件	212件	386件	21件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
88件	271件	534件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者支援 事業所	合計
2件	1件	4件	2件	1件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
2件	0件	0件	1件	0件	



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	165	411	433	388	413	575	575	575	575	575	575	561
みなし仮設	214	274	288	287	339	352	356	356	356	356	356	361
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	78	78	70	70	70	70	70	70	70	79
計	379	685	799	753	822	997	1001	1001	1001	1001	1001	1001

志賀町地域支え合いセンターの実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：富来行政センター 1 階（志賀町社会福祉協議会）

住 所：羽咋郡志賀町富来領家町甲の 10 番地

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和 7 年 3 月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
1	2	2	14		1	20

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①判定会議

ア. 開催回数：19 回（主に火曜日、月 2 回程度）

イ. 参加対象：社協（主任生活支援相談員）、地域包括支援センター、保健福祉センター、病院（リハビリテーション職）、県社協

ウ. 主な内容：被災者（主に仮設住宅住民）の生活状況の確認や定期見守り訪問回数の判定、生活再建状況の進捗状況について情報共有

②被災者見守り支援事業等における連携会議

ア. 開催回数：2 回（不定期）

イ. 参加対象：社協（支え合いセンター副センター長・管理者・主任生活支援相談員）、町行政

ウ. 主な内容：被災者等に対し、見守り支援活動の円滑化を図るため、仮設住宅に入居する住民の支援に関する課題の確認や各種制度の現状や確認事項の共有

③被災者支援団体連携会議

ア. 開催回数：1 回（不定期）

イ. 参加対象：社協（支え合いセンターアドバイザー・副センター長・管理者・主任生活支援相談員）、各支援団体（6 団体）、町行政、県社協

ウ. 主な内容：各支援団体から活動状況等の報告、偏りのない支援を行うための調整

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①「法テラス号」無料法律相談会

ア. 開催回数：2 回（8 月）

イ. 参加対象：被災者（主に仮設住宅に入居する住民）

ウ. 主な内容：被災者が気軽に弁護士に相談できる場を提供

②おでかけバス

ア. 開催回数：8 回（志賀地域、富来地域、毎月各 1 回）

イ. 参加対象：仮設住宅に入居する住民（付き添いは町民可）

- ウ. 主な内容：仮設住宅に入居する住民同士が近くのショッピングセンター等に出かけて交流する機会を作る。



③ 支え合いセンター主催のイベント

ア. 開催回数：3回（不定期）

イ. 参加対象：仮設住宅に入居する住民

ウ. 主な内容：工作やお茶会を通して、仮設住宅に入居した住民の顔合わせや交流する機会を作る。

また、みなし仮設住宅入居者向けのサロンも開催し、支援が手薄になりがちなみなし仮設住宅入居者向けの相談ブース等を設け、気軽に相談する機会を作る。

サロンの開催には、支援団体や地元の団体等の協力を得る。

④ 石川県復興リハビリテーション事業主催アクティビティセンターの運営支援

ア. 開催回数：9回

イ. 参加対象：仮設住宅に入居する住民

ウ. 主な内容：石川県復興リハビリテーション事業の運営支援

主に、仮設住宅集会所における、生活不活発を予防するための体操やそれぞれの能力に応じた作業活動のお手伝い

(3) 研修会の開催状況

① 生活支援相談員等研修会

ア. 開催回数：10回

イ. 参加対象：支え合いセンター職員

ウ. 主な内容：役割や記録の書き方、支援制度の理解、福祉に関する知識の習得

② アドバイザーとの定例ミーティング及び研修会

ア. 開催回数：月1回

イ. 参加対象：支え合いセンター職員

ウ. 主な内容：会議の持ち方やコミュニケーション能力の向上



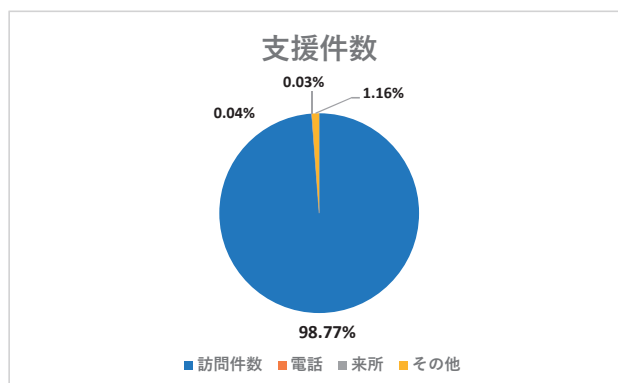
(4) その他の事業の実施状況

① 県南の被災者サロンへの参加協力

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（志賀町）
（R6.7～R7.3末現在） ※R6.7月より集計開始

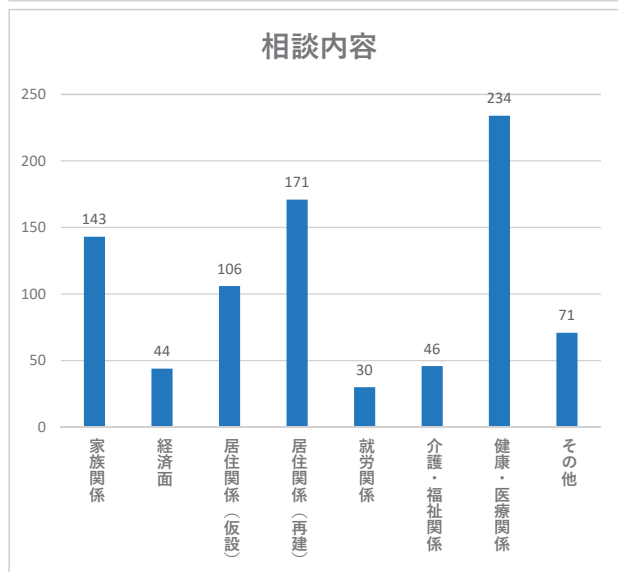
■支援件数

訪問件数	面会できた件数	電話	来所	その他	合計



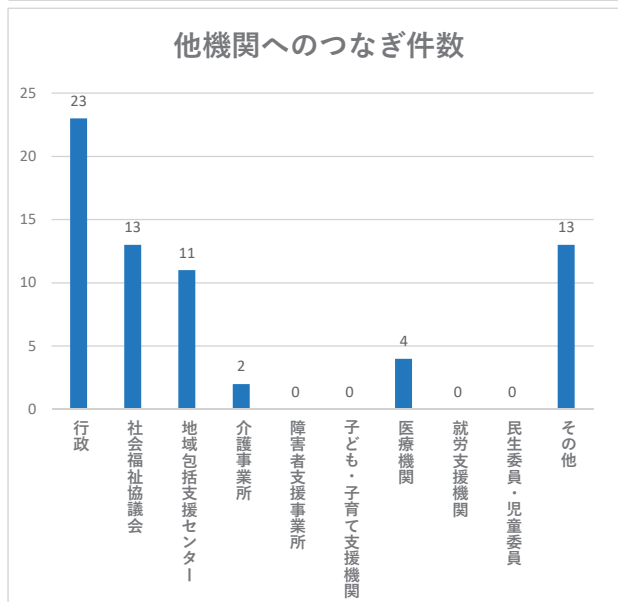
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
143件	44件	106件	171件	30件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
46件	234件	71件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計
23件	13件	11件	2件	0件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
0件	4件	0件	0件	13件	



■見守り対象者数（R6.7～R7.3末）

単位：世帯

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	182	219	219	274	352	352	352	352	352
みなし仮設	89	198	198	108	88	88	88	88	88
在宅	74	0	0	1145	6000	6000	6000	6000	6000
その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0
計	347	417	417	1527	6440	6440	6440	6440	6440

中能登町地域支え合いセンターの実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

- (1) 活動拠点 施設名：中能登町社会福祉協議会ヘルパーステーション
住 所：鹿島郡中能登町能登部上チ部 30 番地

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活 支援相談員	生活支援 相談員	事務員	その他	合計
			10	1		11

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①見守り支援情報共有ミーティング

- ア. 開催回数：月 1 回
- イ. 参加対象：生活支援相談員
- ウ. 主な内容：相談事例検討

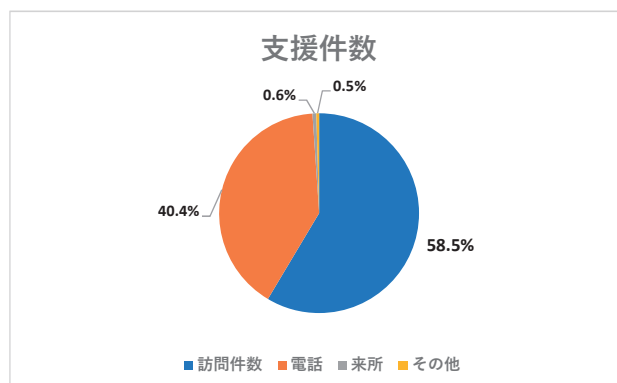
②定例会

- ア. 開催回数：月 1 回
- イ. 参加対象：社協（生活支援相談員、地域支え合いセンター以外の職員）、町行政、
県社協
- ウ. 主な内容：報告事項、制度説明、相談事例検討

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（中能登町）
（R6.4～R7.3末現在）

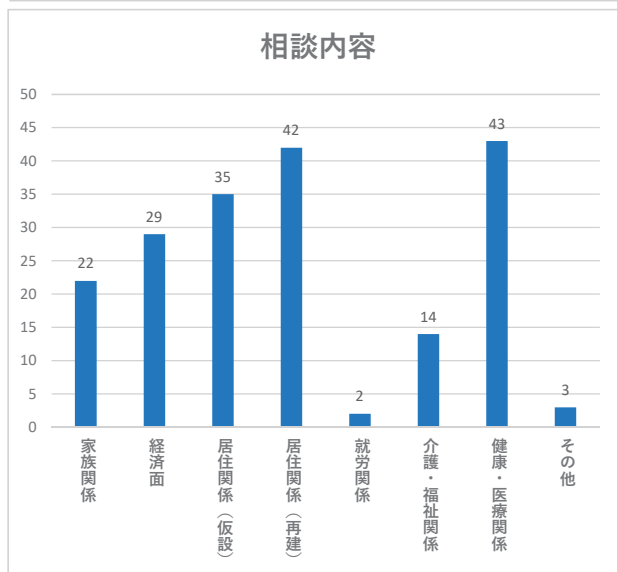
■支援件数

訪問件数	面会できた件数	電話	来所	その他	合計



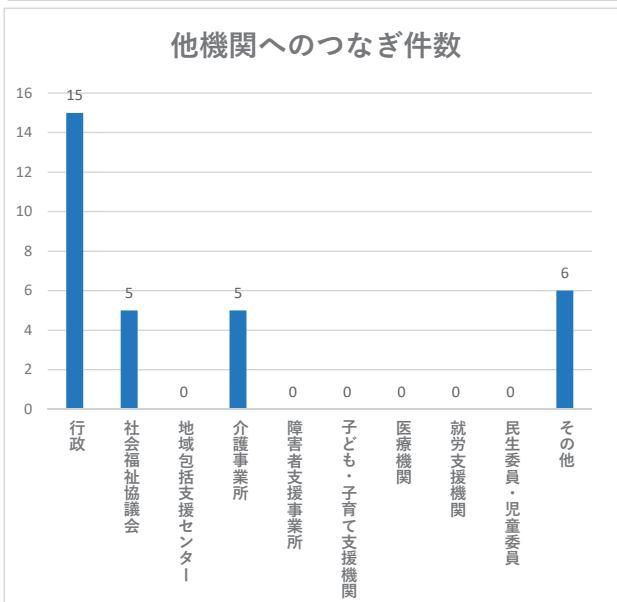
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
22件	29件	35件	42件	2件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
14件	43件	3件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計
15件	5件	0件	5件	0件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
0件	0件	0件	0件	6件	



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	0	20	20	20	30	30	30	30	30
みなし仮設	18	23	32	35	35	35	29	38	44	35	37	37
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	3	0	0	11	11	11
計	18	23	32	35	55	55	52	68	74	76	78	78

羽咋市地域支え合いセンターの実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：羽咋すこやかセンター（羽咋市社会福祉協議会）

住 所：羽咋市鶴多町亀田 17 番地

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
1		1	2	1		5

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①羽咋市・羽咋市社協合同会議

ア. 開催回数：10回

イ. 参加対象：社協、市行政（地域包括支援センター、健康福祉課）、県行政、県社協

ウ. 主な内容：事例検討、各出席者からの連絡事項

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①羽咋市地域支え合いセンター相談会&お楽しみ会など

ア. 開催回数：5回 他関係機関との協同9回

イ. 参加対象：仮設住宅に入居する住民、みなし仮設住宅入居者

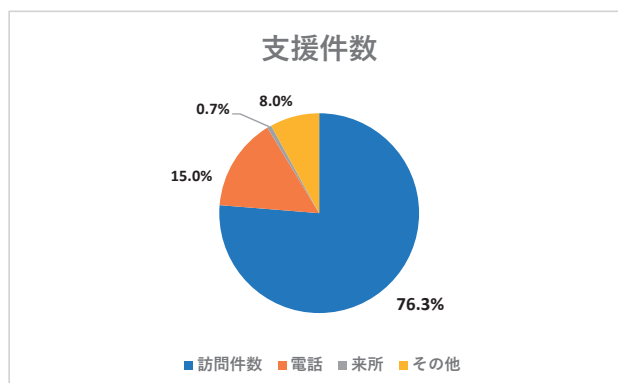
ウ. 主な内容：交流会、相談会



被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（羽咋市）
（R6.4～R7.3末現在）

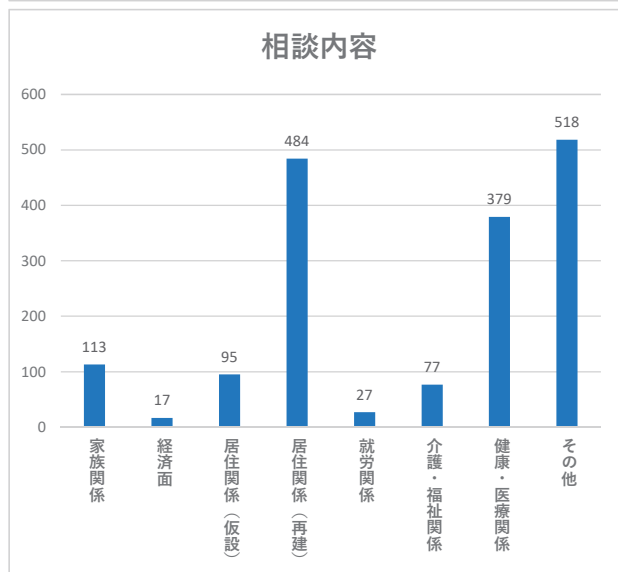
■支援件数

訪問件数	面会できた件数	電話	来所	その他	合計



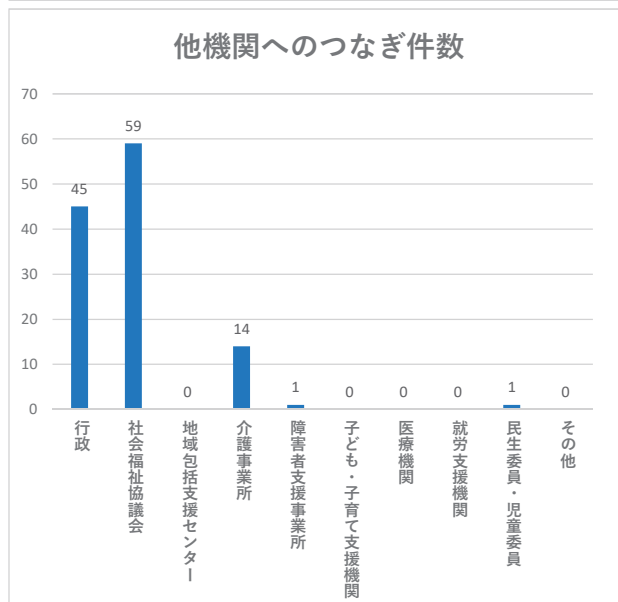
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
113件	17件	95件	484件	27件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
77件	379件	518件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計
45件	59件	0件	14件	1件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
0件	0件	0件	1件	0件	



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	45	48	48	50	50	52	53	53	55
みなし仮設	111	109	129	138	157	156	153	156	158	153	147	146
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	6	11	8	10	12	12	12	10	11
計	111	109	129	189	216	212	213	218	222	218	210	212

地域支え合いセンター内灘の実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：内灘町文化会館（内灘町社会福祉協議会）

住 所：河北郡内灘町大清台 140

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活 支援相談員	生活支援 相談員	事務員	その他	合計
			4	4 <small>（兼務）</small>	63 <small>（内民生委員60名）</small>	67

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

① ケース会議

ア. 開催回数：18回（月1～2回）

イ. 参加対象：社協（生活支援相談員、地域支え合いセンター以外の職員）、町行政（福祉課）、地域包括支援センター、県行政（厚生政策課）、県社協

ウ. 主な内容：報告、情報共有、ケース検討、連絡事項など

② 被災者見守り支援会議

ア. 開催回数：15回（月1～2回・水曜日）

イ. 参加対象：生活支援相談員

ウ. 主な内容：判定会議、報告、支援協議（困難ケース、要配慮者）、被災者交流サロンの情報共有、イベントなどの事前協議

③ 支え合いセンターミーティング

ア. 開催回数：週1回・火曜日

イ. 参加対象：生活支援相談員

ウ. 主な内容：情報共有（要配慮者・困難ケース、地域のサロンや被災者向けのイベント、協力団体等）、ケース会議・見守り支援会議の議題について打ち合わせなど

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会などの開催状況

① 能登あつまらんけカフェ in うちなだ

ア. 開催回数：1回（令和6年9月2日（月））

イ. 参加対象：能登地区から内灘町へ避難している方

ウ. 主な内容：カフェ、相談コーナー、支援物資の配布、避難者同士の交流

② うちなだ避難者のつどい～あつまらんけカフェ～

ア. 開催回数：1回（令和6年10月20日（日））

イ. 参加対象：町内で被災し、町内（自宅外）に避難している方

- ウ. 主な内容：カフェ、相談コーナー、レクレーションコーナー、舞台、抽選会、支援物資の配布、避難者同士の交流



③うちなだカフェ

- ア. 開催回数：15回
 イ. 参加対象：内灘町で居住している避難者
 ウ. 主な内容：カフェ、ワークショップ、講話、支援物資の配布、避難者同士の交流
 うちなだカフェボランティア（避難者）による運営協力



(3) 研修会の開催状況

①住宅金融支援機構による説明会

- ア. 開催回数：1回
 イ. 参加対象：社協（生活支援相談員、地域支え合いセンター以外の職員）、町行政（福祉課）、県行政（厚生政策課）
 ウ. 主な内容：災害復興住宅融資について

(4) その他の事業の実施状況

①被災者サロン

- ア. 開催回数：50回
 イ. 参加対象：町内で被害の大きかった地区の住民、仮設住宅に入居する住民
 ウ. 主な内容：町内で被害の大きかった地区・仮設住宅においてサロン及びイベントの開催（体操、炊き出し、マッサージ、ミニコンサートなど）

②「花束を君に」プロジェクトへの協力

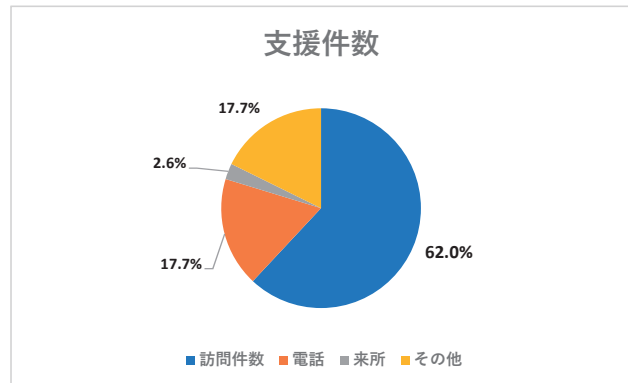
- ア. 開催回数：1回（令和6年12月7日（土））
 イ. 参加対象：仮設住宅に入居する住民
 ウ. 主な内容：岐阜県加茂農林高校園芸流通科の生徒の慰問、仮設住宅に入居する住民へ花束の配布



被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（内灘町）
 (R6.4～R7.3末現在)

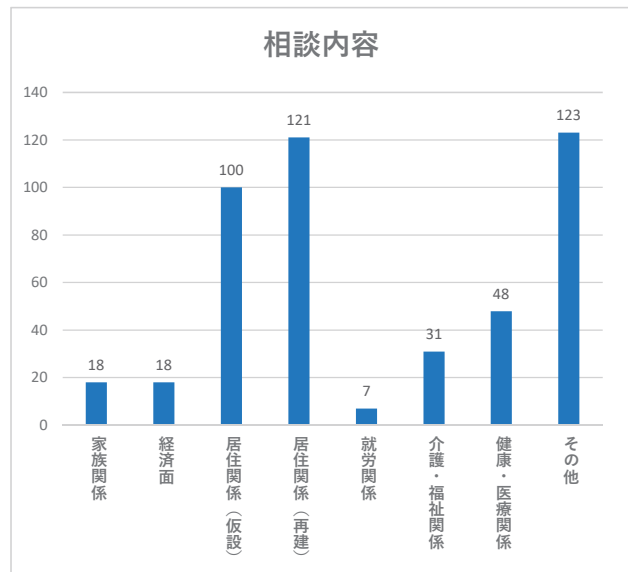
■支援件数

訪問件数	面会できた件数	電話	来所	その他	合計



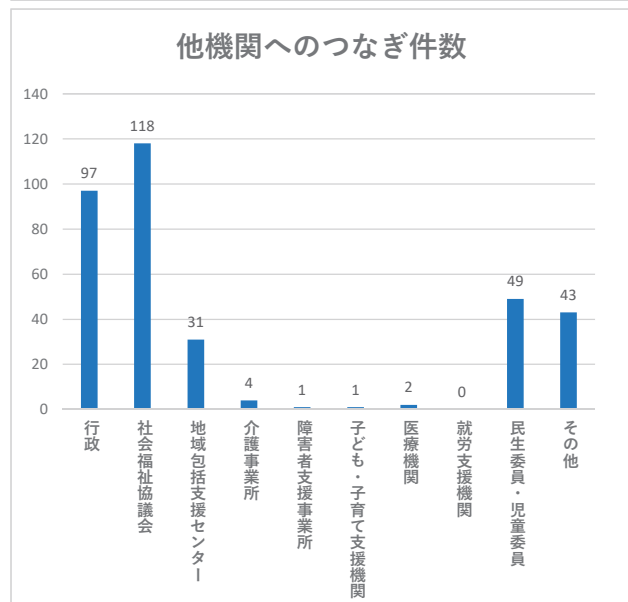
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
18件	18件	100件	121件	7件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
31件	48件	123件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計
97件	118件	31件	4件	1件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
1件	2件	0件	49件	43件	



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	70	73	74	74	74	72	81	80	81	81
みなし仮設	175	195	196	186	171	165	160	155	145	142	141	136
在宅	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0
その他	0	156	0	0	23	0	23	25	23	25	23	21
計	175	351	266	259	268	263	257	252	249	247	245	238

2. 令和6年度石川県内地域支え合いセンターの活動状況

(2) 県南10市町(建設型仮設住宅が設置されていない市町)の活動状況

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績の集計について

■支援件数の集計について

- ・支援の種類別の合計件数を支援対象毎に記入
- ・「訪問件数」「電話」
 - 訪問し面会できた場合＝「訪問件数」「面会できた件数」の両方に1カウント
 - 訪問したが不在だった場合＝「訪問件数」に1カウント
 - 電話・訪問の両方した場合＝「訪問件数」「面会できた件数」「電話」の3つに1カウント
 - 電話して訪問したが不在だった場合＝「訪問件数」「電話」の両方に1カウント
 - 電話したが訪問拒否だったため、訪問しなかった場合＝「電話」だけ1カウント
- ・「来所」「その他」
 - センターや事務所等に来所された場合＝「来所」に1カウント
 - 集いの場、イベントなどで面会できた場合＝「その他」に1カウント

■相談内容の集計について

- ・訪問、電話、来所等で相談のあった件数を内容毎に記入
- ・相談内容が複数ある場合には、1件にまとめるのではなく、内容毎に件数をカウント
 - 1世帯から家族関係・経済面両方の相談があった場合＝「家族関係」「経済面」の両方に1カウント

【相談内容の例一覧】

家族関係・・・家族との不和、死別・離別、子育ての関係、孤立、身元保証人の不在
経済面・・・経済的困窮、経済的な不安
居住関係（仮設）・・・仮設住まいへの不満
居住関係（再建）・・・今後の住まいの再建に関する不安
就労関係・・・離職、再就職、仕事でのトラブル
介護・福祉関係・・・高齢者の介護、身体的病気・障がい、精神的病気・障がい
健康・医療関係・・・健康の不安、心身の不調
その他・・・人間関係のトラブル 等

■他機関へのつなぎ件数の集計について

- ・つなぎ先毎に、他機関へつないだ件数の合計件数を支援対象毎に記入
- ・つなぎ先が複数ある場合には、1件にまとめるのではなく、つなぎ先毎に件数をカウント
 - 1世帯を行政・医療機関の両方につないだ場合＝「行政」「医療機関」の両方に1カウント

石川県地域支え合いセンター金沢の実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：金沢市松ヶ枝福祉館（金沢市社会福祉協議会）

住 所：金沢市高岡町7番25号

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
1	1	1	3	1	5	12

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

① ケース会議

ア. 開催回数：188回

イ. 参加対象：社協、石川県社会福祉士会（社会福祉士）、金沢市障害者基幹相談支援センター、地域包括支援センター、NPO 支援団体

ウ. 主な内容：要配慮世帯の支援方針検討

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

① あつまらんけ〜のと

→令和7年1月10日（金）より、「あつまらんけ のとカフェ」に名称変更

ア. 開催回数：122回

イ. 参加対象：広域避難者

ウ. 主な内容：カフェ、交流の場、支援物資配布（令和6年12月まで）、相談窓口

② あつまらんけ NOTO かなざわ（地域包括支援センターの圏域毎に市内20か所）

ア. 開催回数：30回

イ. 参加対象：金沢市に避難している広域避難者

ウ. 主な内容：つながり・交流の場

(3) 研修会の開催状況

① 生活支援相談員 基礎研修

ア. 開催回数：常時

イ. 参加対象：地域支え合いセンター金沢で訪問活動を行う相談員等

ウ. 主な内容：「地域支え合いセンターとは」「生活支援相談員に求められる役割」「訪問活動のすすめ方」



②中長期のグリーフケアの研修会

- ア. 開催回数：年1回
- イ. 参加対象：地域支え合いセンター生活支援相談員等
- ウ. 主な内容：災害中長期のグリーフケアについて

③全国社会福祉協議会主催生活支援相談活動管理職・担当者全国連絡会議

- ア. 開催回数：年1回
- イ. 参加対象：市区町村社会福祉協議会の役職員、生活支援相談員等
- ウ. 主な内容：地域支え合いセンターの役割と機能を考える

④ AED 操作方法及び救急救命方法講習会

- ア. 開催回数：年1回
- イ. 参加対象：市社協職員
- ウ. 主な内容：AED 操作方法及び救急救命方法

(4) その他の事業の実施状況

①あつまらんけNOTO 支え合いの花プロジェクト

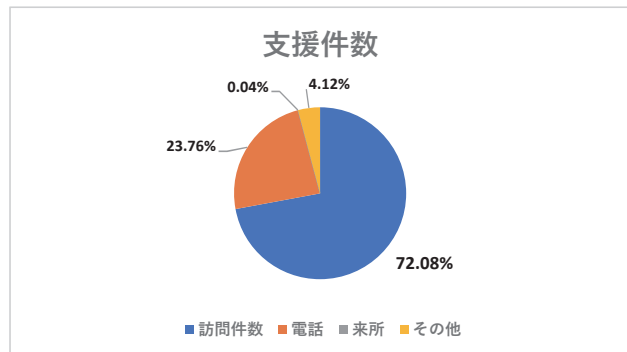
- ア. 開催回数：6回
- イ. 参加対象：広域避難者
- ウ. 主な内容：大型商業施設にある花壇に花を植え育てる。ミニサロン



被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（金沢市）
 (R6.4～R7.3末現在)

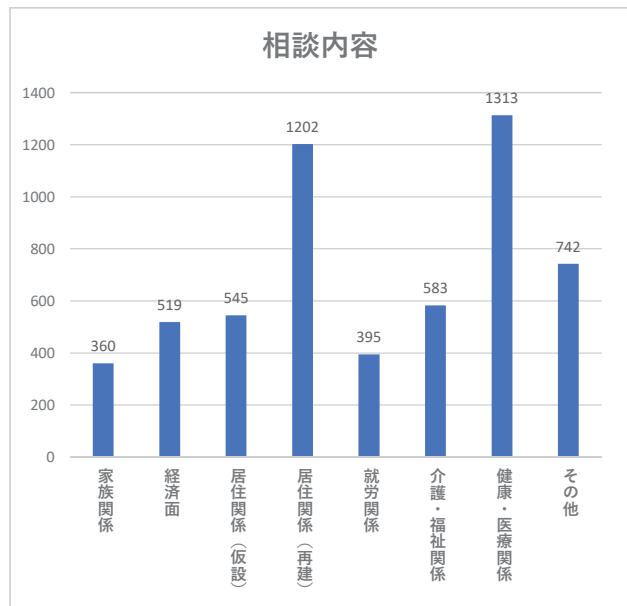
■支援件数

訪問件数					合計
	面会できた件数	電話	来所	その他	
8,577件	2,931件	2,827件	5件	490件	11,899件



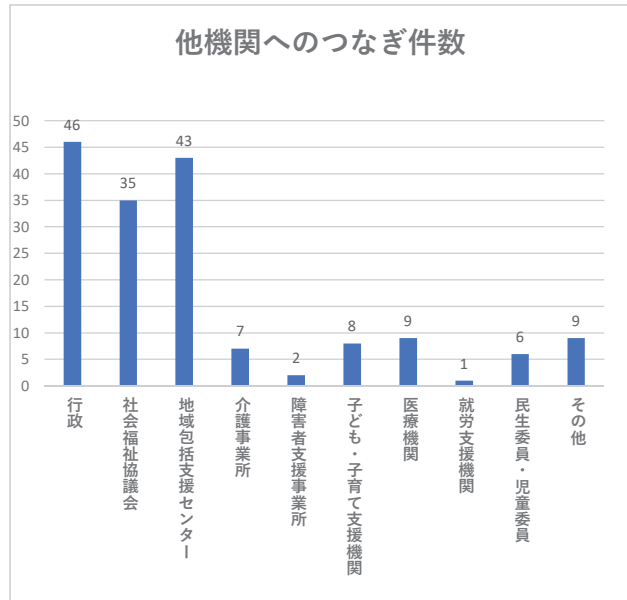
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
360件	519件	545件	1,202件	395件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
583件	1,313件	742件			5,659件



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者支援 事業所	合計
46件	35件	43件	7件	2件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
8件	9件	1件	6件	9件	166件



■見守り対象世帯数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなし仮設	1976	2159	2159	2238	2303	2353	2385	2416	2433	2447	2478	2476
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
その他	102	175	164	187	196	217	218	222	227	231	231	236
計	2078	2334	2323	2425	2499	2570	2603	2638	2660	2678	2709	2719

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：第一地区コミュニティセンター（小松市社会福祉協議会）

住 所：小松市白江町ツ 108 - 1

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
1	1	1	4	4		11

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

① ケース検討会議

ア. 開催回数：月1～2回

イ. 参加対象：社協（生活支援相談員、事務員）

ウ. 主な内容：ケース事例の共有、訪問計画の検討

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

① さわふれカフェ

ア. 開催回数：12回（生活物資配布会に合わせ、月2回開催）

イ. 参加対象：みなし仮設住宅の入居者、自主避難者

ウ. 主な内容：被災者サロンとして開催

コーヒー等飲み物、お菓子など提供、催事開催



② 生活物資配布会と交流会（共催事業）

ア. 開催回数：年2回（令和6年5月・8月）

8月は夏祭り形式で開催

イ. 参加対象：みなし仮設住宅の入居者

ウ. 主な内容：小松市子ども地域食堂ネットワーク協議会による生活物資の配布会とオカリナ等のミニコンサート



(3) その他の事業の実施状況

① 自主避難による被災者へのアンケート調査（令和6年8月）

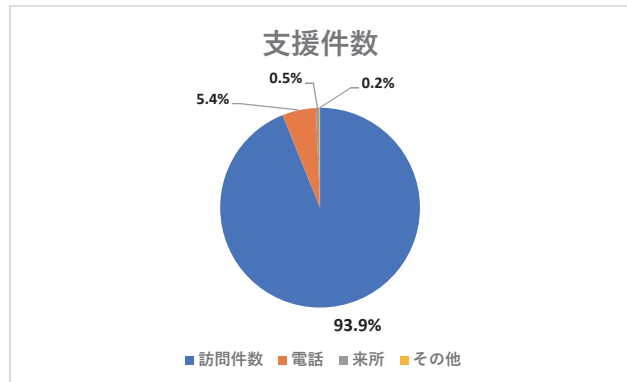
ア. 調査対象：みなし仮設住宅以外の自主避難者世帯

イ. 主な内容：見守り訪問および情報提供の必要性の確認

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（小松市）
 (R6.4～R7.3末現在)

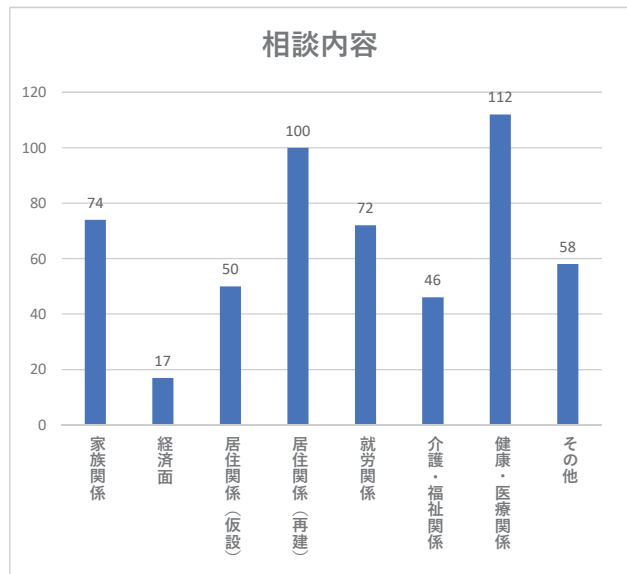
■支援件数

訪問件数					合計
	面会できた件数	電話	来所	その他	
555件	204件	32件	3件	1件	591件



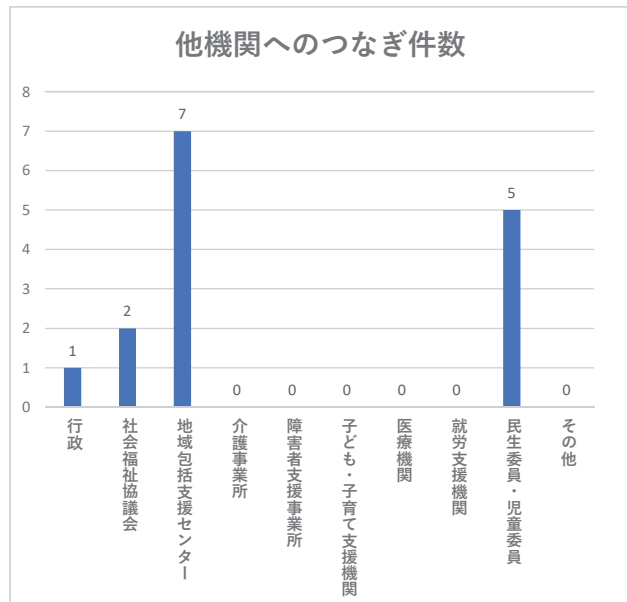
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
74件	17件	50件	100件	72件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
46件	112件	58件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者支援 事業所	合計
1件	2件	7件	0件	0件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
0件	0件	0件	5件	0件	



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなし仮設	102	105	100	103	103	94	92	89	89	85	83	80
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	102	112	100	103	103	94	92	89	89	85	83	83

石川県地域支え合いセンター加賀の実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：加賀市市民会館（加賀市社会福祉協議会）

住 所：加賀市大聖寺南町二 11 - 5

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
			6			6

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①生活支援相談員ミーティング

ア. 開催回数：9回

イ. 参加対象：生活支援相談員

ウ. 主な内容：制度、各ケース支援状況の共有など

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①2次避難者とみなし仮設住宅入居者との茶話会の開催

ア. 開催回数：10回

イ. 参加対象：2次避難者、みなし仮設住宅の入居者

ウ. 主な内容：2次避難者がいる「ホテル百万石」で、2次避難者とみなし仮設住宅入居者との茶話会、山中温泉への「お出かけ」を実施



(3) その他の事業の実施状況

①公費解体に伴うみなし仮設住宅入居者の自宅（加賀市内）の家財処分等の支援

ア. 実施回数：2回

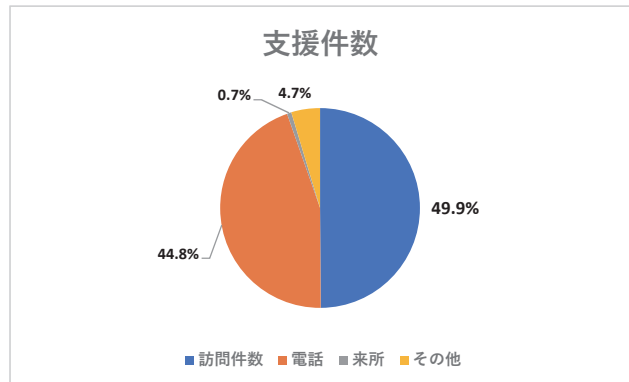
イ. 主な内容：加賀市内の自宅の公費解体にあたり、生活支援相談員・ボランティアで家財道具の搬出、運搬、廃棄等の支援を行った。

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（加賀市）

（R6.4～R7.3末現在）

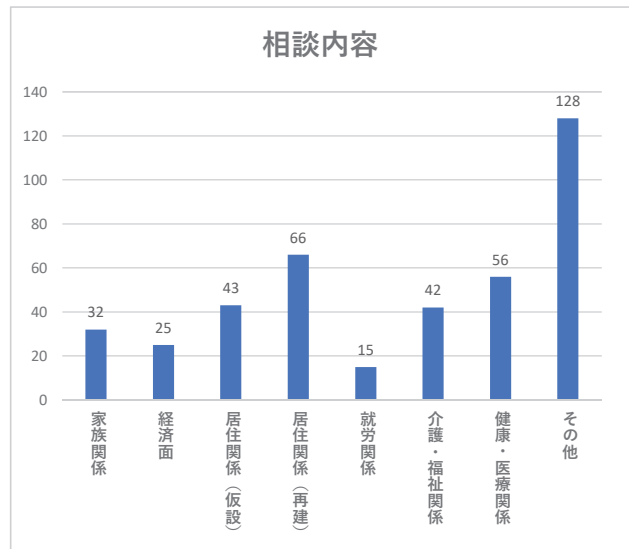
■支援件数

訪問件数					合計
	面会できた件数	電話	来所	その他	
214件	83件	192件	3件	20件	429件



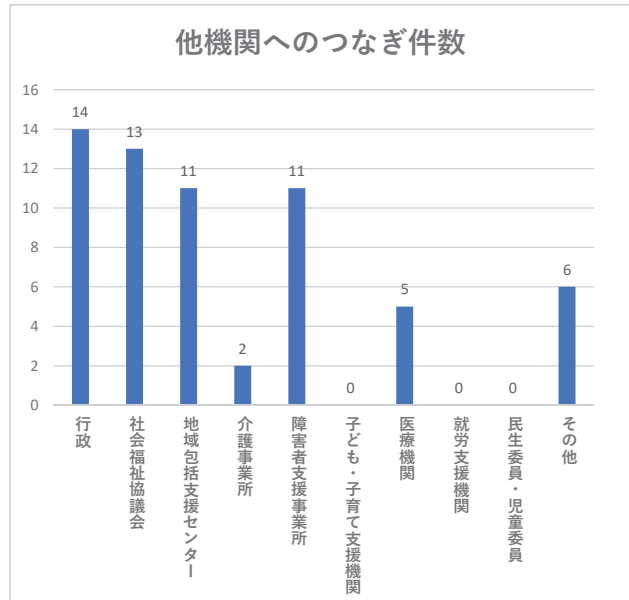
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計	
32件	25件	43件	66件	15件		407件
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他				
42件	56件	128件				



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計	
14件	13件	11件	2件	11件		62件
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他		
0件	5件	0件	0件	6件		



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなし仮設	31	31	32	36	36	34	34	40	33	32	29	31
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5
計	31	34	35	39	40	39	39	45	38	37	34	36

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：かほく市七塚健康福祉センター（かほく市社会福祉協議会）
住 所：かほく市遠塚口 52 番地 10

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
		1	7			8

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①情報共有会議

- ア. 開催回数：適宜
- イ. 参加対象：社協（主任生活支援相談員、生活支援相談員）、市行政他
- ウ. 主な内容：気になる世帯の把握、情報共有、必要な支援機関へのつなぎ

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①ほっこりカフェ

- ア. 開催回数：9回
- イ. 参加対象：被災され、かほく市内へ避難された方（みなし仮設住宅・市営住宅入居者、在宅避難者）
- ウ. 主な内容：交流、情報交換の場づくり
軽体操、ゲーム等で気分転換を図る
専門職への相談（弁護士等）



(3) その他の事業の実施状況

①イベントのお知らせ（他団体）

- ア. 主な内容：市内外の被災者向けのイベントの案内等の郵送

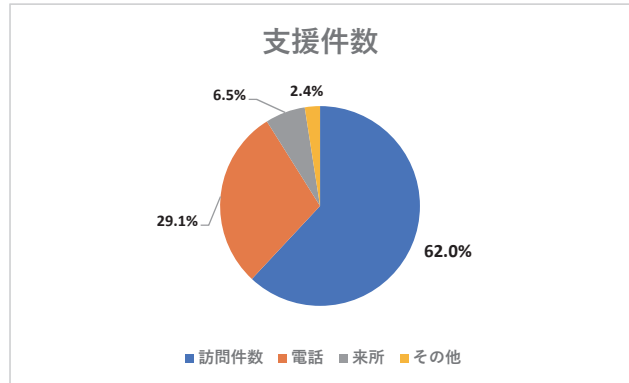


被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（かほく市）

（R6.4～R7.3末現在）

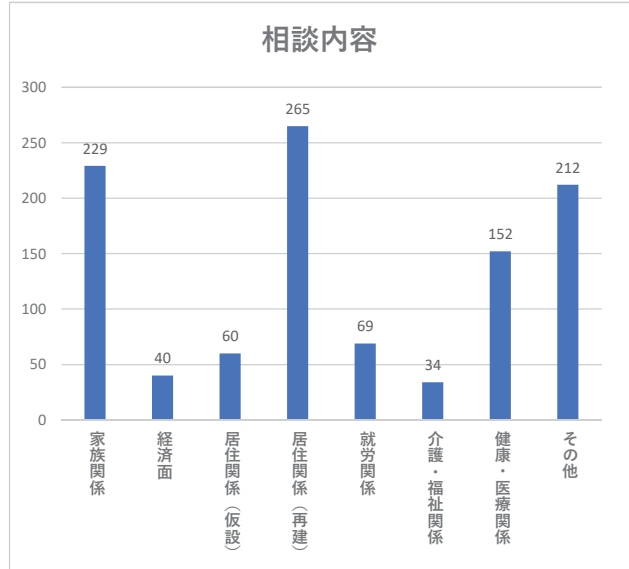
■支援件数

訪問件数					合計
	面会できた件数	電話	来所	その他	
811件	288件	381件	85件	32件	1309件



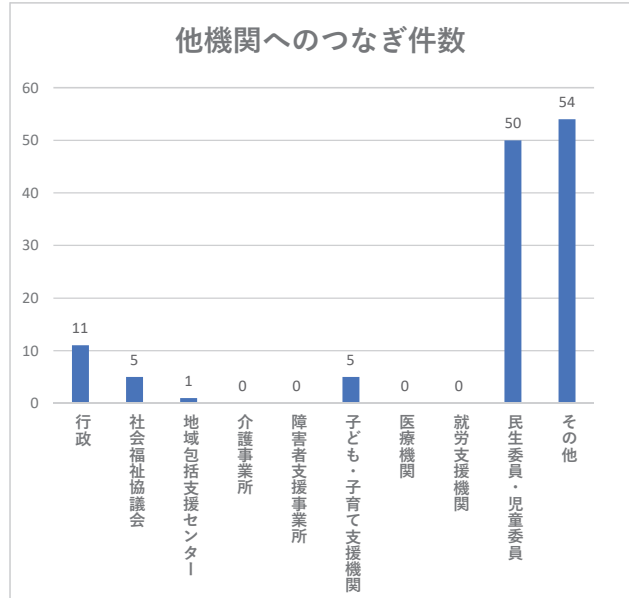
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計	
229件	40件	60件	265件	69件		1,061件
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他				
34件	152件	212件				



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計	
11件	5件	1件	0件	0件		126件
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他		
5件	0件	0件	50件	54件		



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなし仮設	150	150	150	149	142	143	130	130	129	127	125	121
在宅	0	1	1	1	1	5	7	7	7	7	7	4
その他	0	33	31	31	30	28	27	27	22	21	22	19
計	150	184	182	181	173	176	164	164	158	155	154	144

石川県地域支え合いセンター白山の実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：白山市福祉ふれあいセンター（白山市社会福祉協議会）

住 所：白山市倉光八丁目 16 番地 1

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
			4		1	5

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

① ケース共有会議

ア. 開催回数：月2回

イ. 参加対象：社協（地域福祉課）

ウ. 主な内容：困難ケースの相談

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

① のとカフェはくさん

ア. 開催回数：6回

イ. 参加対象：白山市への避難者

ウ. 主な内容：交流・相談会

(3) その他の事業の実施状況

① のとカフェはくさん お出かけ編

ア. 開催回数：1回

イ. 参加対象：白山市への避難者

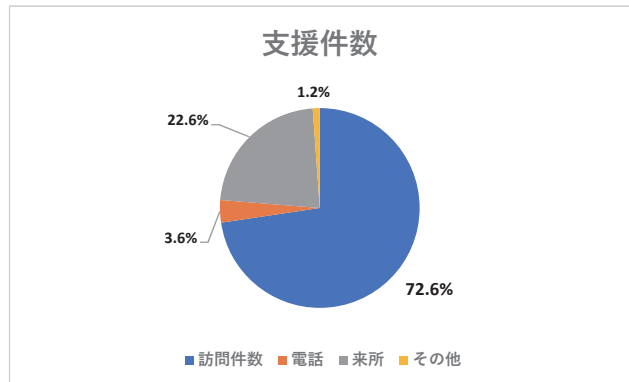
ウ. 主な内容：日帰りバス旅行



被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（白山市）
 (R6.4～R7.3末現在)

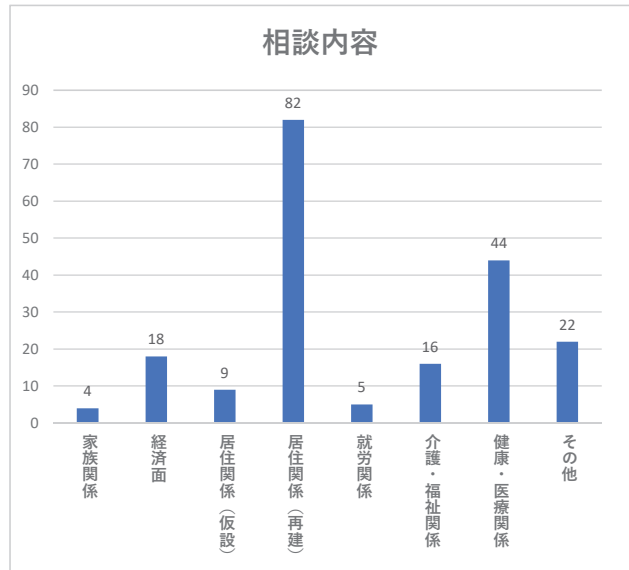
■支援件数

訪問件数					合計
	面会できた件数	電話	来所	その他	
1,575件	464件	79件	489件	25件	2,168件



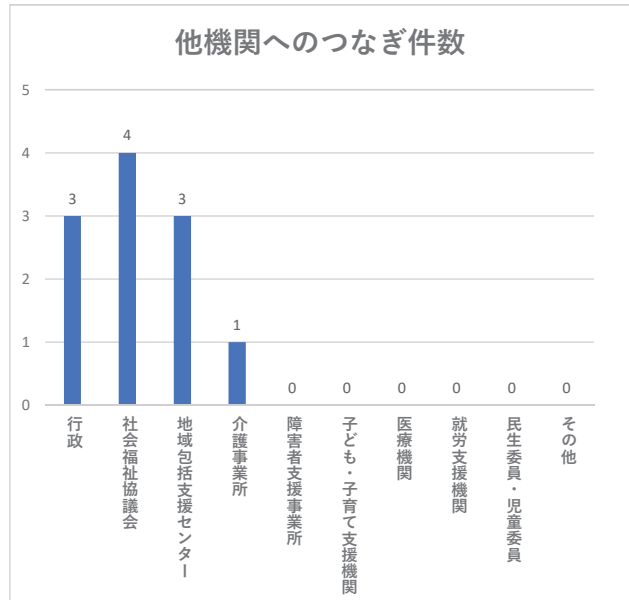
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
4件	18件	9件	82件	5件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
16件	44件	22件			200件



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計
3件	4件	3件	1件	0件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
0件	0件	0件	0件	0件	11件



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなし仮設	158	180	183	185	161	148	140	142	135	129	127	126
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	23	0	0	24	27	26	27	25	27	22	22
計	158	203	183	185	185	175	166	169	160	156	149	148

1. 地域支え合いセンターの体制等

- (1) 活動拠点 施設名：能美市ふれあいプラザ2階（能美市社会福祉協議会）
住 所：能美市寺井町た8番地1

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
		1	3	1		5

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①情報共有会議

- ア. 開催回数：月3～4回（随時）
イ. 参加対象：社協（生活支援相談員）、各地区あんしん相談センター
ウ. 主な内容：見守り対象者の情報共有

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①じんのびカフェ（市内ボランティアグループと共催）

- ア. 開催回数：20回（令和6年8月より第1・3水曜日、月1回休日）
イ. 参加対象：能美市への避難者
ウ. 主な内容：被災者の交流会

市内ボランティア団体が開催した被災者パントリー（支援物資の配布会）においてカフェの開催



②おでかけサロン

- ア. 開催回数：1回（令和7年1月23日（木））
イ. 参加対象：能美市への避難者
ウ. 主な内容：ののいちカミーノ（野々市市）にて能美市以外の広域避難者と交流

③相談会

- ア. 開催回数：2回
イ. 参加対象：能美市への避難者

- ウ. 主な内容：市主催の「能登の復興復旧を祈念するイルミネーション設置の完成セレモニー」に合わせ、県職員と輪島市職員による相談会を開催
能美市民ボランティアフェスティバルに合わせ、県職員と生活支援相談員による相談会を開催



(3) その他の事業の実施状況

①じんのびカフェだよりの発行

- ア. 発行回数：5回
- イ. 送付先：能美市への避難者
- ウ. 主な内容：イベント等の情報提供

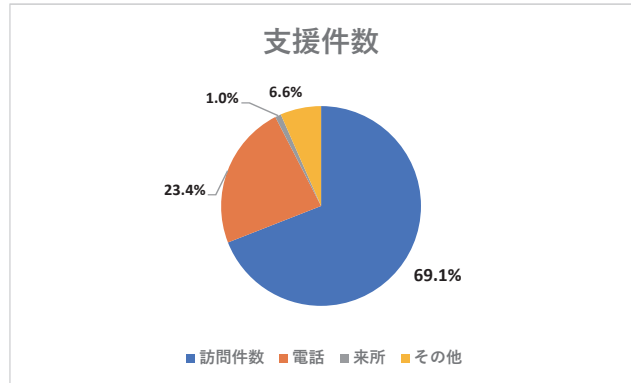


被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（能美市）

（R6.4～R7.3末現在）

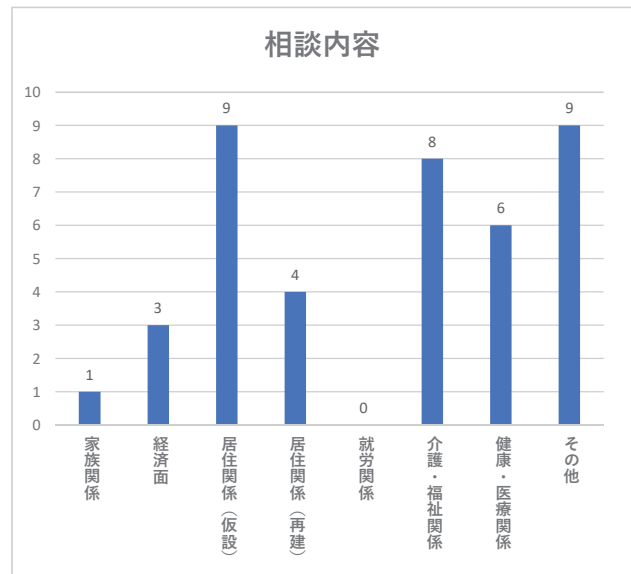
■支援件数

訪問件数					合計
	面会できた件数	電話	来所	その他	
357件	178件	121件	5件	34件	517件



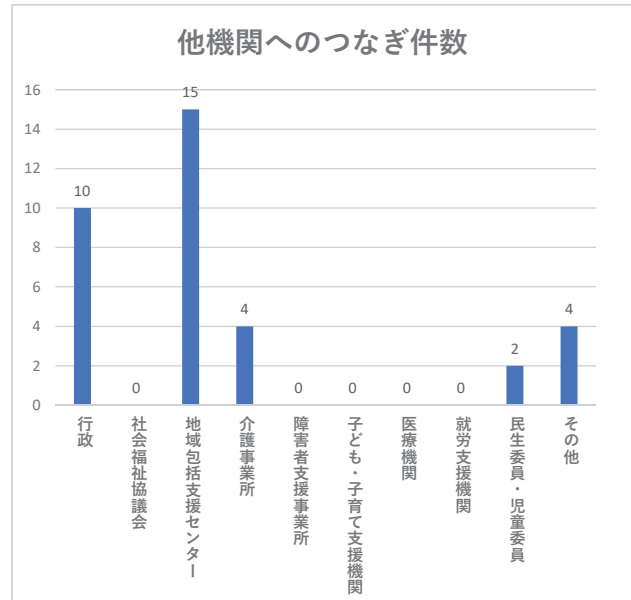
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
1件	3件	9件	4件	0件	
介護・福祉関係	健康・医療関係	その他			
8件	6件	9件			40件



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉協議会	地域包括支援センター	介護事業所	障害者支援事業所	合計
10件	0件	15件	4件	0件	
子ども・子育て支援機関	医療機関	就労支援機関	民生委員・児童委員	その他	
0件	0件	0件	2件	4件	35件



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなし仮設	61	29	68	69	69	54	52	52	50	50	50	50
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	22	22	22	21	21	21	23	22	22	22
計	61	29	90	91	91	75	73	73	73	72	72	72

石川県地域支え合いセンター野々市の実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：石川県地域支えあいセンター野々市

住 所：石川県野々市市栗田 5-403

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
1	0	1	11	1	0	14

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①相談員ミーティング

ア. 開催回数：8回（内3回は社協担当者のみ）

イ. 参加対象：社協（生活支援相談員）

ウ. 主な内容：訪問活動に係る情報の共有

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①のといろカフェ

ア. 開催回数：3回

イ. 参加対象：野々市市への避難者

ウ. 主な内容：

- ・避難者同士の交流機会創出
- ・避難元市町を示す缶バッジとカフェオリジナルキーホルダーの配布
- ・県、市町、各種相談機関の出張相談コーナーの設置
- ・ボランティアによる古着配布やハンドマッサージの実施
- ・支え合いセンターボランティアによるサポートで運営



②テーマ型サロン

ア. 開催回数：2回

イ. 参加対象：野々市市への避難者

ウ. 主な内容：毎回テーマ（絵はがきワークショップ、ナンプレ）を決めて実施
避難者同士の交流機会創出

③ 支え合いセンター通常サロン

- ア. 開催回数：85回（毎週月・水・金の10時～12時、13時30分～15時30分）
- イ. 参加対象：野々市市への避難者
- ウ. 主な内容：避難者同士の交流機会創出、サロンの運営は支え合いセンターボランティアが協力



(3) その他の事業の実施状況

① 能登ふるさとバス（珠洲市社協・県社協と共催）

- ア. 開催回数：1回（令和7年3月4日（火））
- イ. 参加対象：珠洲市から野々市市に避難している方
- ウ. 主な内容：野々市市から珠洲市へバスを運行し、珠洲ささえ愛センター職員との交流及び市内巡回

② 「ささえあいののいち」の発行

- ア. 発行回数：8回（令和6年8月以降、毎月初旬に発行）
- イ. 送付先：みなし仮設住宅等避難者世帯、野々市市社協で把握する避難者世帯
- ウ. 主な内容：イベント等の情報提供
対象世帯に郵送、HP公開、公式LINE等活用し、情報提供

③ 「公式LINE」の運用

「地域支え合いセンター野々市」として公式LINEを開設・運用し、24時間365日いつでも相談できる体制づくりを行った（返信は開所時間のみ）。
公式LINEメニューに「相談フォーム」を設置し、相談しやすい仕組みを構築
他、SMSでの相談も可能

④ アンケート調査の実施

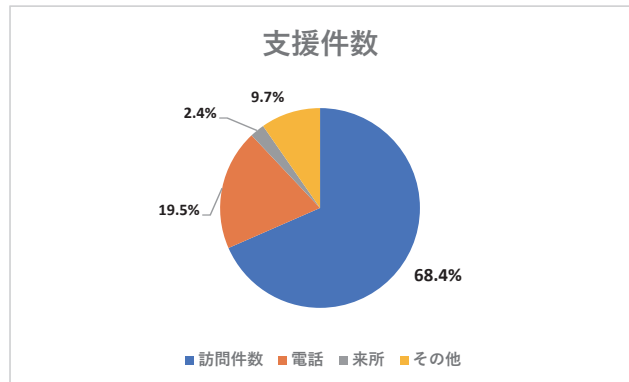
令和7年1月1日時点、みなし仮設住宅等避難者世帯及び野々市市社協で把握する避難者世帯を対象に実施。有効回答「116件」をもとに、訪問活動を実施。回答結果を集計し、野々市市と共有。

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（野々市市）

（R6.4～R7.3末現在）

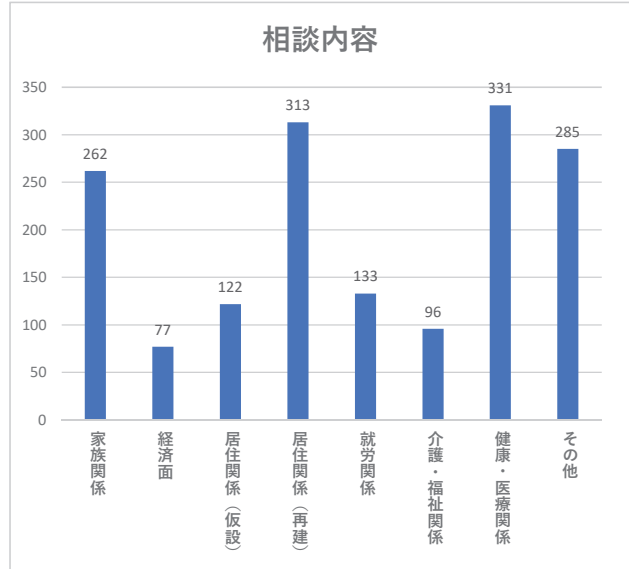
■支援件数

訪問件数					合計
	面会できた件数	電話	来所	その他	
1,005件	414件	287件	35件	142件	1,469件



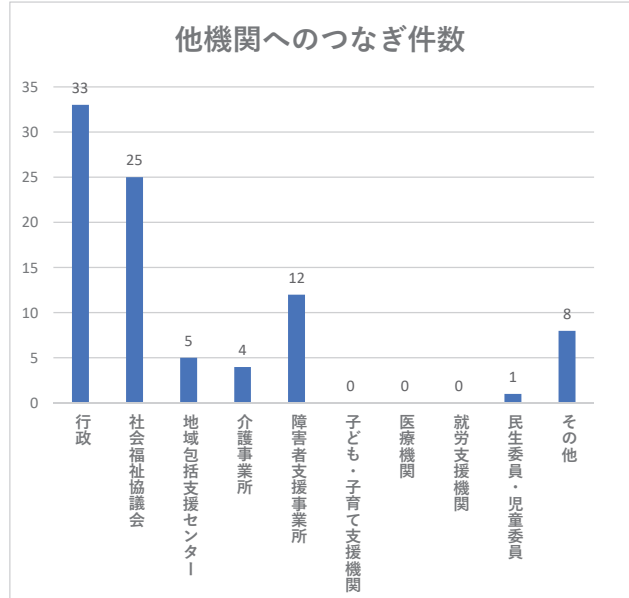
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計	
262件	77件	122件	313件	133件		1,619件
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他				
96件	331件	285件				



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計	
33件	25件	5件	4件	12件		88件
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他		
0件	0件	0件	1件	8件		



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなし仮設	291	308	308	344	295	257	240	227	214	206	208	203
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	14	0	0	13	14	14	15	15	15	15	15
計	291	322	308	344	308	271	254	242	229	221	223	218

石川県地域支え合いセンター川北の実績

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：川北町保健センター（川北町社会福祉協議会）

住 所：能美郡川北町字壺ツ屋 196 番地

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
1	0	1 (兼務)	12	1 (兼務)	0	14

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①支え合いセンター 生活支援相談員ミーティング

ア. 開催回数：年1回

イ. 参加対象：社協（主任生活支援相談員（兼事務員）、生活支援相談員）

ウ. 主な内容：町営住宅の期間延長について

見守り活動でこれから注意してほしいこと 等

(2) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①被災者交流会

ア. 開催回数：年2回

イ. 参加対象：川北町への避難者 延べ8名

ウ. 主な内容：町実施事業（ミニコンサート、敬老会）に参加された避難者の交流会

(3) その他の事業の実施状況

①訪問活動にあわせたチラシの配布

ア. 開催回数：年5回

イ. 配布対象：川北町への避難者

ウ. 主な内容：近隣市町のサロンの情報を書いた
チラシの配布

川北町近隣で開催のサロン ご案内

川北町近隣市で開催されている被災者カフェをご紹介します。川北町に避難されている方も参加OK。ただし、相談会等にはご参加できない場合があります。

じんのびカフェ ※予約不要・直接会場へお越し下さい
開催場所：ふれあいプラザ 能美市寺井町4 8 番地 1
開催日時：毎月第1・第3水曜日 13:30~15:00

のとカフェ白山 ※予約不要・直接会場へお越し下さい
開催場所：白山市福祉ふれあいセンター 倉光八丁目1 6 番地 1
国道8号線沿倉光東交差点すぐ
開催日時：月1回開催

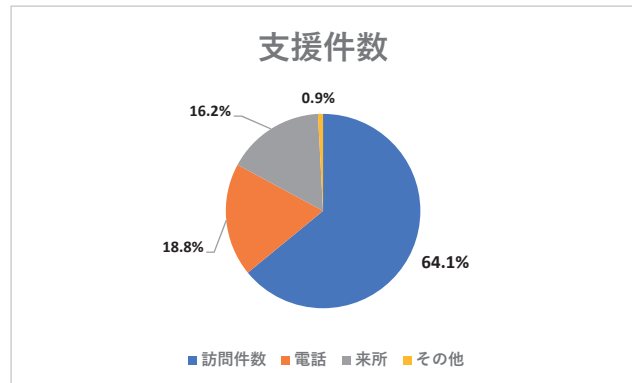
さわふれカフェ ※要予約
開催場所：第一地区コミュニティセンター 小松市白江町108-1
開催日時：毎月2回開催 第1土曜日 10:00-12:00・第3木曜日 13:30-15:30
※申し込みは川北町ささえあいセンター
(076-277-8388) まで
4月以降の開催日は変更になる場合があります

川北町ささえあいセンター
TEL: 076-277-8388
川北町字壺ツ屋196 川北町保健センター内

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（川北町）
 (R6.7～R7.3末現在) ※R6.7月より集計開始

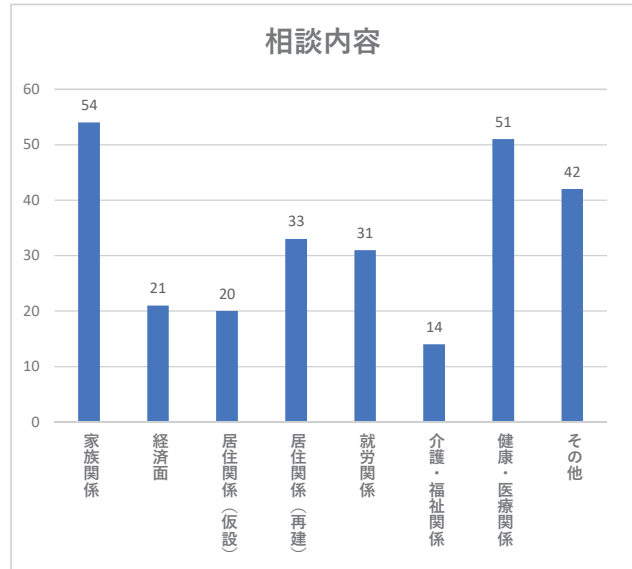
■支援件数

訪問件数	電話		来所	その他	合計
	面会できた件数				
75件	58件	22件	19件	1件	117件



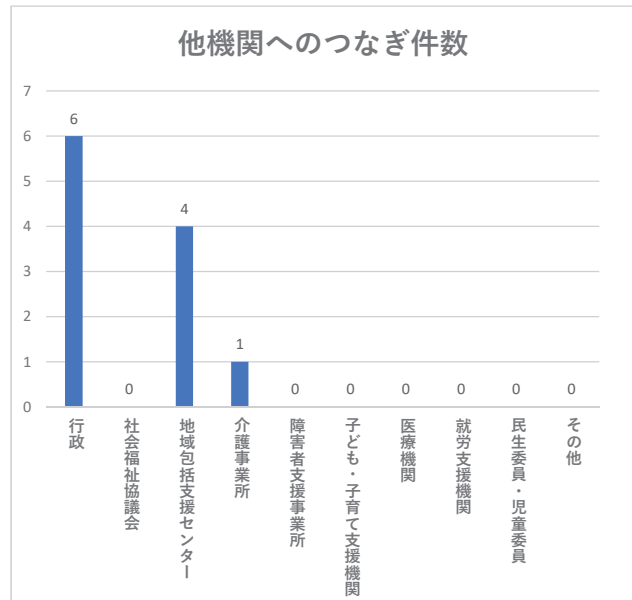
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
54件	21件	20件	33件	31件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
14件	51件	42件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計
6件	0件	4件	1件	0件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
0件	0件	0件	0件	0件	



■見守り対象者数（R6.7～R7.3末）

単位：世帯

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなし仮設	0	1	1	1	1	1	1	1	1
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	14	14	14	14	14	13	13	13	13
計	14	15	15	15	15	14	14	14	14

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：津幡町福祉教育プラザ1階（津幡町社会福祉協議会）
住 所：河北郡津幡町字庄二 71 番地

(2) 生活支援相談員等の配置状況（令和7年3月）

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
0	0	1	17	0	0	18

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 被災者交流会（被災者サロン）・相談会等の開催状況

①能登半島地震被災者支援サロン

ア. 開催回数：9回

イ. 参加対象：津幡町への避難者

ウ. 主な内容：避難者の交流会

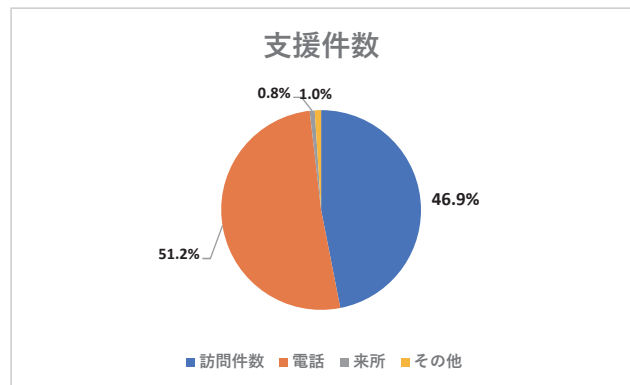
（主催は津幡町社会福祉法人連絡会だが当法人も事務局として支援している）



被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（津幡町）
 (R6.4～R7.3末現在)

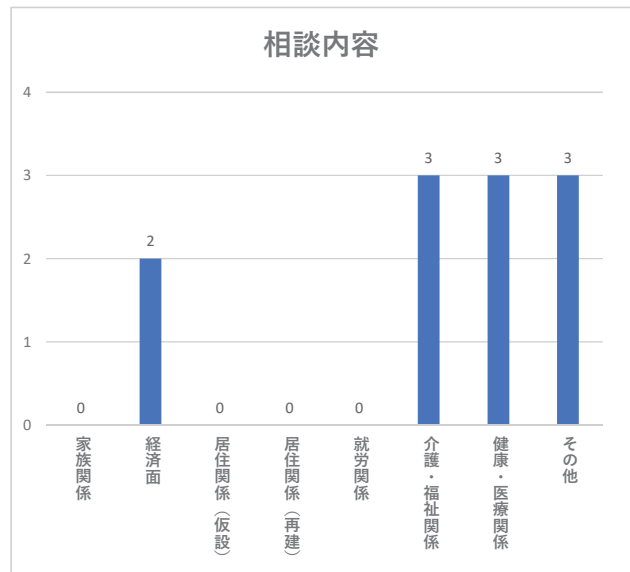
■支援件数

訪問件数	面会できた件数		電話	来所	その他	合計
	訪問件数	面会できた件数				
227件	104件	104件	248件	4件	5件	484件



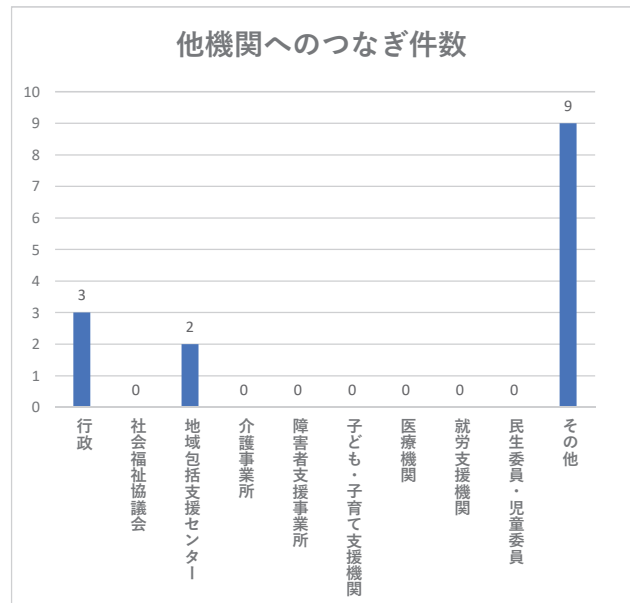
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
0件	2件	0件	0件	0件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
3件	3件	3件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計
3件	0件	2件	0件	0件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
0件	0件	0件	0件	9件	



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなし仮設	115	119	138	119	101	106	102	102	89	92	90	82
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	5	0	3	3	8	8	8	8	8	8	8
計	115	124	138	122	104	114	110	110	97	100	98	90

1. 地域支え合いセンターの体制等

(1) 活動拠点 施設名：宝達志水町民センターアステラス1階
(宝達志水町社会福祉協議会)

住 所：羽咋郡宝達志水町門前サ 11 番地

(2) 生活支援相談員等の配置状況 (令和7年3月)

単位：人

センター長	副センター長	主任生活支援相談員	生活支援相談員	事務員	その他	合計
		2	2			4

2. 地域支え合いセンターの主な取り組み

(1) 会議等の開催状況

①情報共有ミーティング

ア. 開催回数：23回

イ. 参加対象：社協（主任生活支援相談員、生活支援相談員）

ウ. 主な内容：訪問後の被災者の情報共有

②区分判定会議

ア. 開催回数：2回

イ. 参加対象：社協（主任生活支援相談員、生活支援相談員）

ウ. 主な内容：被災者の支援区分の判定

③行政との情報共有会議

ア. 開催回数：1回

イ. 参加対象：社協（主任生活支援相談員）、町行政（健康福祉課）

ウ. 主な内容：ケース事例の共有

(2) その他の事業の実施状況

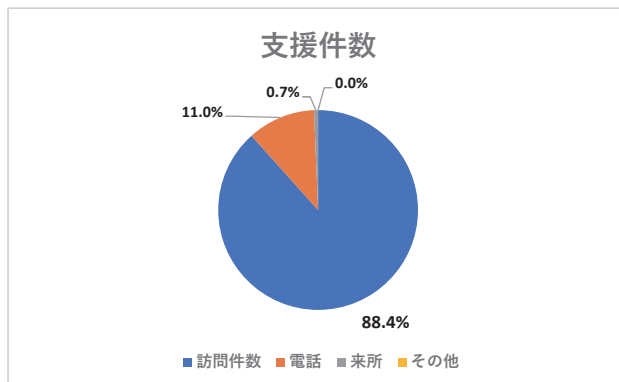
①地域支え合いセンター宝達志水の周知

- ・チラシの作成
- ・民生委員への周知
- ・社協広報紙への掲載

被災者見守り・相談支援等事業訪問実績（宝達志水町）
 (R6.4～R7.3末現在)

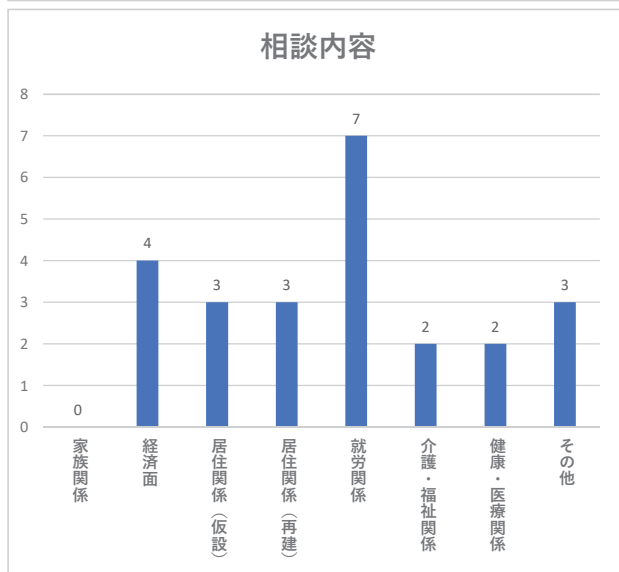
■支援件数

訪問件数					合計
	面会できた件数	電話	来所	その他	
129件	50件	16件	1件	0件	146件



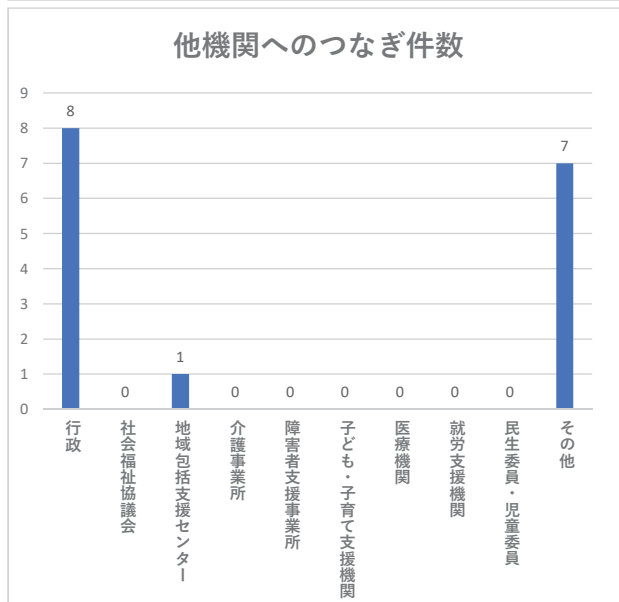
■相談内容

家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	合計
0件	4件	3件	3件	7件	
介護・ 福祉関係	健康・ 医療関係	その他			
2件	2件	3件			



■他機関へのつなぎ件数

行政	社会福祉 協議会	地域包括支援 センター	介護 事業所	障害者 支援事業所	合計
8件	0件	1件	0件	0件	
子ども・子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員・ 児童委員	その他	
0件	0件	0件	0件	7件	



■見守り対象者数（R6.4～R7.3末）

単位：世帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
みなし仮設	9	10	10	10	11	12	15	15	15	16	16	16
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	14	14	14	10	12	13	13	12	12	12	12
計	9	24	24	24	21	24	28	28	27	28	32	32

3. 令和6年度石川県地域支え合いセンターの 活動状況

石川県社会福祉協議会では、令和6年能登半島地震の被災者支援事業として県内全域に設置された市町の地域支え合いセンター（以下、市町センター）の運営支援のため、石川県からの受託により石川県地域支え合いセンター（以下、県センター）を設置しました。

県センターでは、所管課である石川県庁健康福祉部厚生政策課をはじめ、復旧・復興推進部などの県関連部課や士業団体などの専門職団体との連携協働により、市町センターの効果的な事業推進、後方支援を行っています。

また、各市町センターを定期的に巡回訪問し、会議等の参加や個別相談への対応などを行っています。

(1) 人材育成

①基礎研修

各市町センターの研修や中途採用の生活支援相談員への学習のための基礎研修動画を配信した。

第1講 地域支え合いセンターとは

第2講 生活支援相談員に求められる役割

第3講 訪問活動のすすめ方


②主任生活支援相談員等研修

開催日	開催場所	内容	参加人数
6月21日	県地場産業振興センター	講 義：「ニーズを把握しニーズに応じた活動を進めるために」 講 義：「つながることを支援し多様なコミュニティの形成を進めるために」 講 師：オフィス園崎 代表 園崎 秀治 氏 ラーニング・ファシリテーター 椿原 恵 氏	24名

③オンラインサロン

被災者生活再建支援に関する基礎知識の習得や他の被災地の実践を知ることを目的に、令和6年7月より毎月オンライン開催（一部集合型あり）

開催日	内容	参加
7月19日	講 義：「仮設住宅の供与期間終了後の住まいについて」 講 師：近畿災害対策まちづくり支援機構 弁護士 津久井 進 氏	38回線
8月23日	講 義：「災害復興住宅融資を活用した住宅再建について」 講 師：住宅金融支援機構北陸支店 井上 浩司 氏 小松 美貴枝 氏	28回線
9月20日	講 義：「被災者のかかえるストレスとその接し方」 講 師：石川こころのケアセンター 精神科医 東間 正人 氏	39回線

開催日	内容	参加
10月18日	講義：「被災した子どもたちの傷とその保護者への関わり方」 講師：金沢大学子どもたちの発達研究センター 特任助教（公認心理師・言語聴覚士）田中 早苗 氏	23回線
11月15日	講義・実践発表：「発災後1年を迎える被災者に寄り添うには」 講師：石川県こころの健康センター 所長 角田 雅彦 氏 発表者：岩手県釜石市社会福祉協議会 地域福祉課長 菊池 亮 氏	33回線
12月13日	情報交換会【集合型 県内2会場】 「飛び出せオンライン！生活支援相談員のみなさん、何しとるが～」 ファシリテーター：NPO 法人日本ファシリテーション協会 	能登会場 49名
		加賀会場 26名
1月17日	実践発表：「先輩生活支援相談員から話を聞こう」 発表者：長野県社会福祉協議会 まちづくりボランティアセンター 主査 山崎 博之 氏 長野市社会福祉協議会 地域福祉課 係長 小野 貴規 氏 長野市災害ボランティア委員会 （元生活支援相談員）米山 秀一 氏	27回線
2月21日	実践発表：「サロン活動の実践を聞く」 発表者：岩手県陸前高田市社会福祉協議会 事務局長 安田 留美 氏 通所介護事業所管理者 佐藤 尚子 氏	29回線
3月21日	講義：「生活支援相談員としての1年を振り返る つながる・ つなげる・つなぎなおす」 講師：岡山県倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐 椿原 恵 氏	26回線

④視察研修

東日本大震災における被災者支援の取組について知るため、県外の市町社協への視察研修を実施した。

開催日	内容	参加人数
2月13日 14日	1日目：郡山市社会福祉協議会（福島県） 2日目：南三陸町社会福祉協議会（宮城県）	22名



(2) 専門職・アドバイザー派遣事業

各市町センターの生活支援相談員の研修会への講師派遣やサロン会場、相談会への専門職派遣を実施した。

のべ派遣回数：85回

(3) 連絡会議等の開催

①被災者見守り連絡会（オンライン開催）

被災高齢者等把握事業から被災者見守り・相談支援等事業へ円滑に繋げるための連絡会に協力した。

開催日	内容	参加対象
5月24日	行政説明：被災者見守り・相談支援等事業の支援対象範囲 実践発表：岡山県倉敷市における在宅要配慮者支援 各市町における実施状況の情報交換	能登5市町（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町、七尾市）の地域支え合いセンターおよび自治体

②自治体連携会議（オンライン開催）

全市町行政の本事業担当者および市町センターを対象に進捗状況の報告と実践発表を行った。

開催日	内容
8月2日	<ul style="list-style-type: none"> 被災者見守り・相談支援等事業の実施状況について 石川県地域支え合いセンターの設置について 支え合いセンター実践発表（珠洲市・白山市） 2次避難所支援の実践発表（小松市） 県関係機関等からの被災者支援情報について
1月31日	<ul style="list-style-type: none"> 被災者の住まい確保に係る支援策の行政説明 士業団体による専門相談会の開催状況の報告 被災者見守り・相談支援等事業の実施状況について 県関係機関等からの被災者支援情報について

③支え合いセンター情報交換会

ア. エリア開催

開催日	開催場所	内容	参加対象
8月29日	珠洲ささえ愛センター	各種会議の開催状況、生活支援相談員の雇用・勤怠管理、帳票類に関する情報交換	能登6市町地域支え合いセンターセンター長、主任生活支援相談員等
9月18日	津幡町社会福祉協議会	各種会議の開催状況、サロン活動、生活支援相談員の雇用・勤怠管理・活動状況に関する情報交換	かほく市、津幡町、宝達志水町の地域支え合いセンター主任生活支援相談員等

イ. テーマ開催

開催日	開催場所	内容	参加対象
1月24日	志賀町文化ホール	実践発表：「東日本大震災被災者支援の経験から災害VCと支え合いセンターの連携」 発表者：岩手県釜石市社会福祉協議会 地域福祉課長 菊池 亮 氏	県内の地域支え合いセンターセンター長、主任生活支援相談員等

④ worklog 操作説明会（オンライン開催）

開催日	内容
5月30日	見守り活動記録用アプリ worklog 操作説明
10月22日	見守り活動記録用アプリ worklog の機能強化について

(4) 市町外避難者支援

① 広域避難者事例共有会議

オンラインにて被災地・避難先センター間で困難ケースの事例共有を実施した。

開催日	被災地センター	避難先センター	共有世帯数
10月24日	穴水町	野々市市	1件
10月24日	志賀町	金沢市	1件
10月30日	七尾市	かほく市	2件
11月5日	能登町	小松市	1件
		野々市市	1件
		金沢市	1件
11月6日	輪島市	白山市	4件
		加賀市	3件
11月7日	輪島市	かほく市	4件
		小松市	1件
11月8日	珠洲市	かほく市	3件
11月11日	輪島市	金沢市	5件
11月18日	珠洲市	野々市市	2件
11月19日	輪島市	野々市市	3件
2月18日	穴水町	野々市市	1件
2月25日	珠洲市	金沢市	1件
		小松市	2件
		野々市市	1件
		白山市	1件
2月26日	輪島市	小松市	1件
		野々市市	2件
			合計 41 件

② 能登サロン in 金沢勤労者プラザの開催

県南への広域避難者の集いの場として開催した。

開催日	開催場所	内容	参加人数
12月7日	金沢勤労者プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難者同士の交流会 ・弁護士や被災自治体職員等による相談コーナー ・キッズ縁日 ・キャラクターとの写真撮影会 	66名



③能登ふるさとバス

被災地への移動が困難な被災者を対象とし、地元の復興状況を知るためのバスツアーを実施した（令和7年度に実施するための試行事業）。

開催日	参加対象	内容	参加人数
3月4日	野々市市に避難した珠洲市民	・珠洲市職員からの復興状況の説明 ・被災地区を巡り、復興状況を確認	15名



(5) 広報活動

①地域支え合いセンター活動紹介のチラシ送付

県南 10 市町のみなし仮設および公営住宅の新規入居世帯に対し、地域支え合いセンターの訪問活動等について知らせるチラシを送付した

送付数：毎月 1 回 合計 2,941 通

②石川県社会福祉協議会ホームページ内に専用ページ新設

オンラインサロンの動画、各月送付した被災者生活支援情報を掲載

③石川県社会福祉協議会機関紙「社会福祉」、フェイスブック「災害情報@いしかわ」に県および市町地域支え合いセンターの活動を紹介

④生活支援相談員向け参考資料の作成

- ア. 訪問活動のポイント
- イ. 個人情報の取り扱いについて
- ウ. 見守り活動における緊急時の対応について

(6) 市町地域支え合いセンター定例会への参加および巡回訪問 123 件

4. 卷末資料

(1) 石川県内の被害状況について

①死者・負傷者数

1. 令和6年能登半島地震（令和7年3月31日時点）

単位：人

	死者		行方不明者	負傷者		合計
		うち災害 関連死		重症	軽症	
金沢市	1	1			9	10
七尾市	50	45		34	3	87
小松市	1	1		1	1	3
輪島市	204	103	2	213	303	722
珠洲市	165	68		47	202	414
羽咋市	5	4			7	12
白山市	1	1			2	3
能美市				1		1
野々市市					1	1
津幡町				2		2
内灘町	6	6		6		12
志賀町	20	18		19	97	136
中能登町	2	2		5	1	8
穴水町	47	27		33	225	305
能登町	60	58		30	25	115
合計	562	334	2	391	876	1831

2. 奥能登豪雨（令和7年3月25日時点）

単位：人

	死者	行方不明者	負傷者		合計
			重症	軽症	
輪島市	11		1	34	46
珠洲市	3			9	12
能登町	2		1	2	5
合計	16	0	2	45	63

②住家被害

1. 令和6年能登半島地震（令和7年3月31日時点）

単位：棟

	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	合計
金沢市	32	251	20,355			20,638
七尾市	515	4,994	11,283			16,792
小松市	1	80	11,529			11,610
輪島市	2,310	3,954	4,327			10,591
珠洲市	1,754	2,091	1,755			5,600
加賀市	14	54	7,121			7,189
羽咋市	62	487	3,440			3,989
かほく市	9	246	3,211			3,466
白山市			1,674			1,674
能美市	1	13	3,137			3,151
野々市市			1,517			1,517
川北町			69			69
津幡町	9	83	3,511			3,603
内灘町	124	564	2,338			3,026
志賀町	562	2,470	4,419	6	5	7,462
宝達志水町	12	78	1,787			1,877
中能登町	56	904	3,372			4,332
穴水町	387	1,289	1,647			3,323
能登町	269	992	4,511			5,772
合計	6,117	18,550	91,003	6	5	115,681

2. 奥能登豪雨（令和7年3月25日時点）

単位：棟

	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	合計
七尾市					3	3
輪島市	68	579	66	51	427	1,191
珠洲市	14	64	11	18	229	336
内灘町					1	
能登町		6	60		218	284
計	82	649	137	69	878	1,815

③建設型仮設住宅の設置戸数（令和7年3月18日時点）

1. 令和6年能登半島地震

	団地数（箇所）	戸数（戸）
七尾市	13	575
輪島市	44	2,897
珠洲市	45	1,718
羽咋市	2	67
内灘町	6	95
志賀町	10	393
宝達志水町	1	4
中能登町	3	30
穴水町	19	532
能登町	16	571
合計	159	6,882

2. 奥能登豪雨

	団地数（箇所）	戸数（戸）
輪島市	4	264
珠洲市	1	22
合計	5	286

(2) 訪問等の状況 (令和6年度)

①被災9市町

単位：件

市町名	支援対象	対象世帯数(7.3)	支援件数					相談内容										他機関へのつなぎ件数							合計				
			訪問件数	うち面会できた件数	電話	来所	その他	合計	家族関係	経済面	居住関係(仮設)	居住関係(再建)	就労関係	介護・福祉関係	健康・医療関係	その他	合計	行政	社協	地域包括	介護事業所	障害者支援事業所	子育て支援機関	医療機関		就労支援機関	民生委員児童委員	その他	
輪島市	応急仮設	2,925	34,129	12,644	58	0	1,097	35,284	48	29	243	56	6	208	267	143	1,000	293	36	81	29	1	0	26	2	0	180	648	
	みなし仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	在宅	5,500	8,703	3,241	132	35	111	8,981	203	113	18	199	95	80	246	518	1,472	77	34	71	19	0	3	7	0	19	425		
	その他	0	512	0	0	0	0	512	0	0	0	0	0	0	0	142	142	0	0	0	0	0	0	0	0	0	142		
合計	8,425	43,344	15,885	190	35	1,208	44,777	251	142	261	255	101	288	513	803	2,614	370	70	152	48	1	3	33	2	19	517	1,215		
珠洲市	応急仮設	1,718	9,360	5,038	478	7	5	9,850	344	142	1,415	1,736	183	726	3,523	1,532	9,601	59	5	5	11	1	2	9	1	0	8	101	
	みなし仮設	15	47	23	11	0	0	58	0	1	0	30	0	0	5	41	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	
	在宅	3,669	4,095	2,413	307	12	4	4,418	45	77	121	2,241	29	165	723	570	3,971	13	3	5	3	3	1	1	0	0	54	83	
	その他	0	103	37	48	4	3,142	3,297	1	4	16	86	0	14	28	20	169	3	2	2	0	0	0	0	0	0	4	11	
合計	5,402	13,605	7,511	844	23	3,151	17,623	390	224	1,552	4,093	212	905	4,279	2,127	13,782	76	10	12	14	4	3	10	1	0	69	199		
穴水町	応急仮設	524	14,310	7,822	77	1,133	2,625	18,145	14	34	148	50	3	74	913	461	1,697	127	446	50	14	4	110	56	3	3	105	918	
	みなし仮設	27	142	66	17	3	6	168	4	4	1	6	0	1	0	6	22	11	21	8	1	0	14	7	0	1	9	72	
	在宅	50	1,127	180	39	460	1,389	3,015	27	31	10	88	3	20	94	28	301	25	44	11	2	1	11	8	1	11	14	128	
	その他	8	18	15	1	3	108	130	0	3	0	0	0	0	4	1	8	2	9	2	0	0	2	2	0	0	4	21	
計	609	15,997	8,083	134	1,599	4,128	21,458	45	72	159	144	6	95	1,011	496	2,028	165	520	71	17	5	137	73	4	15	132	1,139		
能登町	応急仮設	535	11,242	4,500	373	234	4,066	15,915	24	18	218	182	9	34	162	127	774	223	20	23	0	0	1	58	12	0	32	369	
	みなし仮設	21	17	10	1	1	0	19	14	8	8	20	3	12	65	6	136	8	1	3	0	0	0	0	0	0	12	24	
	在宅	979	3,772	1,800	257	1	249	4,279	241	164	41	223	111	116	475	148	1,519	89	4	19	0	2	0	0	0	2	3	119	
	その他	5	2	1	0	0	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	1,540	15,033	6,311	631	236	4,321	20,221	279	190	267	425	123	162	702	281	2,429	320	25	45	0	2	1	58	12	2	47	512		
七尾市	応急仮設	561	4,372	1,482	105	14	37	4,528	55	44	192	323	15	85	233	339	1,286	1	1	4	2	0	2	0	0	0	0	10	
	みなし仮設	361	255	94	176	8	912	1,351	5	12	16	54	6	3	25	108	229	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	
	在宅	79	108	58	8	2	304	422	0	1	1	7	0	0	11	81	101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	その他	1,001	4,742	1,638	295	29	1,260	6,326	61	61	212	386	21	88	271	534	1,634	2	1	4	2	1	2	0	0	1	0	13	
計	352	4,495	1,484	3	2	142	4,642	69	22	79	55	24	13	97	29	388	6	0	5	0	0	2	0	2	0	0	26		
志賀町	応急仮設	88	971	292	2	0	0	973	6	6	19	17	2	2	24	5	81	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	みなし仮設	6,000	7,428	3,266	0	2	9	7,439	68	16	8	99	4	31	113	37	376	16	9	6	2	0	2	0	0	0	35		
	在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	6,440	12,894	5,042	5	4	151	13,054	143	44	106	171	30	46	234	71	845	23	13	11	2	0	0	4	0	0	13	66	
計	55	235	136	15	2	75	327	21	1	22	52	5	16	75	159	351	13	21	0	5	0	0	0	0	0	0	39		
羽咋市	応急仮設	146	766	354	184	5	31	986	87	11	72	428	18	59	297	349	1,321	28	37	0	9	0	0	0	0	0	1	0	75
	みなし仮設	0	4	2	4	2	1	11	5	3	0	1	2	1	4	6	22	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
	在宅	11	25	11	0	0	1	26	0	2	1	3	2	1	3	4	16	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	212	1,030	503	203	9	108	1,350	113	17	95	484	27	77	379	518	1,710	45	59	0	14	1	0	0	0	0	1	0	120

市町名	支援対象	対象世帯数 (R7.3)	支援件数				相談内容								他機関へのつなぎ件数																			
			訪問件数	うち面会できた件数	電話	来所	その他	合計	家族関係	経済面	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	居住関係 (仮設)	居住関係 (再建)	就労関係	介護・福祉関係	健康・医療関係	その他	合計	行政	社協	地域包括 事業所	介護 事業所	障害者 支援 事業所	子育て 支援機関	医療機関	就労支援 機関	民生委員 児童委員	その他	合計				
能美市	応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	みなし仮設	50	258	134	83	2	14	357	1	1	4	3	0	7	5	7	28	6	0	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	29		
	在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	22	99	44	38	3	20	160	0	2	5	1	0	1	1	2	12	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6	0		
計	72	357	178	121	5	34	517	1	3	9	4	0	8	6	9	40	10	0	15	4	0	0	0	0	0	0	0	2	4	35	0			
野々市市	応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	みなし仮設	203	1,005	414	287	35	142	1,469	262	77	122	313	133	96	331	285	1,619	33	25	5	4	12	0	0	0	0	0	0	1	8	88	0		
	在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	218	1,005	414	287	35	142	1,469	262	77	122	313	133	96	331	285	1,619	33	25	5	4	12	0	0	0	0	0	0	1	8	88	0			
川北町	応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	みなし仮設	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	在宅	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	5	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	その他	13	74	57	22	19	1	116	53	20	20	32	31	13	50	42	261	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	
計	14	75	58	22	19	1	117	54	21	20	33	31	14	51	42	266	6	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0		
津幡町	応急仮設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	みなし仮設	82	211	93	239	4	5	459	0	2	0	0	0	3	3	3	11	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14	0	
	在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	8	16	11	9	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	90	227	104	248	4	5	484	0	2	0	0	0	3	3	3	11	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14	0		
宝達志水町	応急仮設	4	2	1	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	みなし仮設	16	56	21	12	0	0	68	0	2	2	1	4	0	1	3	13	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	0	
	在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	12	71	27	3	1	0	75	0	2	0	2	3	2	1	0	10	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8	0		
計	32	129	50	16	1	0	146	0	4	3	3	7	2	2	3	24	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	16	0			

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

ふれあいネットワーク

発行者：社会福祉法人石川県社会福祉協議会 石川県地域支え合いセンター
発行：令和7年8月

〒920-8557 金沢市本多町3丁目1番10号
TEL 076(216)8800 FAX 076(222)8900
<http://www.isk-shakyo.or.jp/>